

1. 市民の学びを支える

- (1)学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供
- ①市民が自発的に学習できる機会の提供

生涯学習推進基本指針進捗状況

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
生涯学習市民センター活動委員会事業 【文化生涯学習課】	市内各生涯学習市民センターで市民と行政が協働(活動委員会)で生涯学習事業を実施	サンブラザ生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 7事業 421人(内2事業コロナで中止) ②さだ 7事業 215人 ③御殿山 11事業 350人 ④牧野 8事業 219人 ⑤津田 9事業 652人 ⑥菅原 11事業 7,000人 ⑦南部 16事業 6,105人(内1事業コロナで中止)	サンブラザ生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 9事業 853人 ②さだ 8事業 295人 ③御殿山 10事業 284人 ④牧野 8事業 282人 ⑤津田 11事業 1,215人 ⑥菅原 17事業 6,499人 ⑦南部 17事業 5,896人	◆事業への参加率【算出式:参加者人数÷募集人数×100】 目標:80% 実績:80% ◆活動委員会事業の参加者延べ人数 目標:30,000人 実績:15,324人 ◆活動委員会事業の件数 目標:90件 実績:82件	現状維持	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。		
ひらかた市民大学開催事業 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学との連携・協力により、特色ある各大学の専門知識等を生かして学習できる講座を市民に提供	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施令和4年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 19人 ②大阪歯科大学 30人 ③関西外国語大学 62人 ④大阪工業大学 23人 ⑤摂南大学 48人	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施令和5年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 119人 ②大阪歯科大学 50人 ③関西外国語大学 62人 ④大阪工業大学 26人 ⑤摂南大学 29人	◆満足度(アンケートにより)アンケートにより満足であったと回答した割合。【算出式:「満足」「やや満足」と回答した人数÷回答者人数×100】項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」 目標:90% 実績:90% ◆「ひらかた市民大学」の参加者数 目標:200人 実績:286人 ◆「ひらかた市民大学」の開催数 目標:5回 実績:5回	現状維持	より多くの市民が、参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。		
生涯学習事業 【文化生涯学習課】	他部署との連携事業や美術関連事業等、各生涯学習市民センターを実施場所として各種事業を実施。また、生涯学習市民センターまつりなど実行委員会形式により、市民主体の事業を実施。	◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」 1講座 2回 40人 ②マナビスト講座 3講座 47人 ③初級人形劇講習会 1講座 5人 ④サンサン人形劇場 10回 508人 ⑤サンブラザ生涯学習市民センター主催講座 2講座 9回 181人	◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」 1講座 22人 ②マナビスト講座 3講座 81人 ③初級人形劇講習会 1講座 10人 ④サンサン人形劇場 10回 656人 ⑤南部生涯学習市民センター主催講座 1講座 2回 37人	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数÷回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。		

(参考)

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
サンブラザ生涯学習市民センター・生涯学習情報プラザを除く7センターに活動委員会を設置 ◆活動委員会(7センターに設置)事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①楠葉 13事業 3,767人 ②蹠陀 9事業 733人 ③御殿山 7事業 2,418人 ④牧野 11事業 504人 ⑤津田 12事業 1,310人 ⑥菅原 16事業 10,587人 ⑦南部 16事業 9,192人
市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を各大学1回計5講座を実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西外国語大学 34人 ②大阪工業大学 44人 ③大阪歯科大学 30人 ④摂南大学 13人 ⑤関西医科大学 55人
◆主な生涯学習事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①生涯学習講座「もっと知りたい枚方市の取り組み」 1講座 2回 34人 ②マナビスト講座 3講座 116人 ③初級人形劇講習会 1講座 15回 7人 ④サンサン人形劇場 9回 709人 ※平成30年度より指定管理者制度の導入館が6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)となり、生涯学習課が主として行う事業の実施回数が減った。

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
文化芸術創造拠点形成事業【文化生涯学習課】	枚方市文化芸術振興計画に基づき、具体的な事業を実施する。 市民が優れた文化芸術に触れる機会の充実や主体的に文化芸術活動を行うことのできる環境整備のため、総合文化芸術センター指定管理者との共催又は委託による事業のほか、直営で小中学生を対象とした将棋教室等を開催。 また、文化芸術アドバイザーの提案事業や連携協定を締結したプロのオーケストラ団体との事業を展開する。	◆枚方市文化芸術アドバイザー事業【平田オリザ氏】 市立小学校6年生を対象とするコミュニケーション授業(12小学校) 32クラス ◆ひらかた将棋イベント 令和4年12月10日開催 参加者数 108人 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校27校にアーティストバンク登録アーティストを派遣 ◆若手芸術家支援事業 アーツプラウトパフォーミングアーツとして4公演を開催 「étroisle打楽器コンサート」参加者 286人 「Duo Vertクラリネット&ピアノコンサート」参加者 261人 「前田将寛・紗央理ペア 情熱の社交ダンスショー＆ダンス体験」参加者 145人 「ダンス市川まや×演奏panna cotta コンテンポラリーダンスを生演奏で楽しむ♪」参加者 150人 ◆ひらかたジュニアプラスバンド事業 練習 10日間 令和5年2月19日開催 入場者 486人	◆枚方市文化芸術アドバイザー事業【平田オリザ氏】 市立小学校6年生を対象とするコミュニケーション授業(13小学校) 28クラス ◆ひらかた将棋イベント 令和5年8月5日開催 参加者数 96人 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校28校にアーティストバンク登録アーティストを派遣 ◆若手芸術家支援事業 アーツプラウトパフォーミングアーツとして4公演を開催 「田邊優子 エレクトーンリサイタル」参加者 307人 「duo futabaクラリネット&ピアノコンサート」参加者 305人 「三村詩音 ピアノリサイタル」参加者 307人 「藤間皓也 日本舞踊への誘い」参加者 198人 ◆ひらかたジュニアプラスバンド事業 練習 10日間 令和6年1月21日開催 入場者 605人	◆参加者の満足度アンケート結果で肯定的評価を行った回答率の事業平均【算出式:とても良い又は良いと回答した数／全回答数×100】 目標:85% 実績:91.4% ◆対象事業の参加者数 目標:10,000人 実績:15,177人 ◆補助金の対象事業数 目標:5事業 実績:5事業	現状維持	総合文化芸術センターの指定管理者と連携を図り、事業を実施していく。		
市民企画イベント促進事業【文化生涯学習課】	市民が企画する、広く市民を対象とする文化芸術に係る事業を実施しようとする団体に対して支援を実施	【実施実績】 ①申請団体数 3団体 ②支援団体数 3団体	【実施実績】 ①申請団体数 5団体 ②支援団体数 4団体	◆各事業の参加者数の合計 目標:150人 実績:884人 ◆支援決定団体が実施した事業数 目標:3事業 実績:9事業 ◆支援決定団体数 目標:3団体 実績:4団体	現状維持	これまでの取組を継続する。		
農業ふれあい体験事業【農業振興課】	市内の小中学生を対象に農業者の指導のもと食農体験学習を実施	◆小中学生による農作業や試食等の体験 8小学校(参加児童607人)	◆小中学生による農作業や試食等の体験 10小学校(参加児童710人)	◆ふれあいツアーに初参加する人の割合【算出式:初参加者数/参加者数×100】 目標:30% 実績:56% ◆ふれあいツアーの参加者数 目標:1,350人 実績:1,633人 ◆収穫体験可能な作物種類の数 目標:11種類 実績:8種類 ◆食農体験学習を実施した小学校数 目標:16校 実績:10校 ◆食農体験学習の協力農家数 目標:14軒 実績:8軒	現状維持	本事業は農業者の協力が不可欠であることから、引き続き農業者への事業協力を求め、実施していく。		
介護予防普及啓発事業【健康づくり課】	介護予防に資する文化的活動(趣味活動)を実践するグループの活動支援体制の構築を図る(令和4・5年度の2年間実施)	◆PFS(成果連動型民間委託契約方式)の実施 介護予防事業「SPRINGひらかた」の実施 ・「気づきの場」と「学びの場」の開催によるグループの組成に向けた支援	◆PFS(成果連動型民間委託契約方式)の実施 介護予防事業「SPRINGひらかた」の実施 ・「気づきの場」と「学びの場」の開催によるグループの組成及び「活動の場」による自主的なグループ運営を支援 ・6か月以上活動継続者(実人数)145人	◆健活フェスタ参加者の健康意識の向上率【算出式:向上した人数／参加者全体数×100】 目標:60% 実績:84% ◆「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数 目標:25,000人 実績:17,379人 ◆介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法である「健活フェスタ」の開催回数 目標:1回 実績:1回 ◆訪問指導延べ人数 目標:67人 実績:206人 ◆健康相談実施回数 目標:72回 実績:657回	拡充	教室や講座への参加者の増加にとどまらず、自主的に社会活動や健康づくりに取り組めるよう地域を基盤にした継続的な介護予防活動ができる支援体制を構築していく。	効果検証と併せて本事業を見直し、身近な場所での介護予防につながる活動に取り組むことができる「新たな介護予防拠点」として「街かど健康ステーション」を令和6年4月に設置。	

事業内容			
具体的な取り組み(実績)			
H30			
・平成30年5月に大阪フィルハーモニー交響楽団と連携協定を締結。 ・平成30年6月に枚方市文化芸術アドバイザーを設置し、平田オリザ氏(社会包摂)、わかぎゑふ氏(演劇)、市川克明氏(音楽)、辰巳満次郎氏(古典芸能)を選任。 ・枚方市ゆかりの芸術家を発掘し、育成するための仕組みとして、平成31年3月に枚方市アーティストバンクを設置。 ◆ひらかた将棋イベント ①トーナメントコース 参加者 64人 ②入門コース 参加者 31人 ◆鼓堂・こども太鼓体験事業 ①メインステージ 入場者 延べ661人 ②ワークショップ 参加者 32人 ◆枚方市文化芸術アウトリーチ事業 小学校にプロの芸術家を派遣。参加人数 15校 1,290名 ◆若手芸術家支援事業 アーツブラウトパフォーミングアーツvol.1 入場者 119人			
【実施実績】 ①申請団体数 2団体 ②支援団体数 2団体			
◆小中学生による農作業や試食等の体験 14小学校(参加児童1,160人)			
〔主な啓発事業〕 ◆介護予防のためのご近所運動教室 ①開催回数 95回 ②参加者数 1,227人 ◆高齢者健康づくりプロジェクト ①開催回数 8回 ②参加者数 延べ 1,818人 ◆介護予防健康教育・健康相談 健康教育 ①開催回数 90回 ②参加者数 延べ 4,488人 健康相談 ①開催回数 144回 ②参加者数 1,567人 ◆高齢者元気はつらつ健康づくり事業 ①開催回数 74回 ②参加人数 1,287人 ◆地域元気づくり教室 ①開催回数 14回 ②参加者数 268人 ◆生涯現役地域づくり事業 ①開催回数 2回 ②参加者数 318人 ◆運動機能向上等の介護予防普及啓発事業 ①開催回数 88回 ②参加者数 845人 ◆ひらかた元気くらわんか体操普及啓発事業 ①開催回数 52回 ②参加者数 875人 ◆エクサルク教室 ①開催回数 245回 ②参加者数 4,846人 ◆ここから介護予防教室 ①開催回数 120回 ②参加者数 2,184人			

主な事務事業	概要	事業内容 具体的な取り組み(実績)		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		R4年度	R5年度				
枚方公園青少年センター青年文化事業 【子ども青少年政策課】	青少年の文化活動の支援を図るべく、学習事業として青少年講座フリーゼミナール、夏休みチャレンジ教室などの青少年教室、文化事業として枚方市青少年少女合唱団、枚方公園ユーススクエア(サンサン人形劇)などを実施	◆主な青年文化事業 開催回数及び参加者数 ①枚方公園ユーススクエア 1回 53人 ②青年祭でのバンドライブ 1回 107人 ③枚方市少年少女合唱団による定期発表会及びイベント出演 5回 団員40人(内訳 小学生17人、中学生12人、高校11人) ④照明講習会 2回 6人、音響講習会 2回 15人 ⑤1Dayフェスティバル 408人	◆主な青年文化事業 開催回数及び参加者数 ①枚方公園ユーススクエア 1回 89人 ②青年祭でのバンドライブ 1回 147人 ③枚方市少年少女合唱団による定期発表会及びイベント出演 6回 団員40人(内訳 小学生17人、中学生9人、高校14人) ④照明講習会 2回 9人、音響講習会 2回 15人 ⑤1Dayフェスティバル 575人	◆参加者による事業の満足度【算出式:参加者アンケートで「楽しかった」「おもしろかった」等の回答者数/アンケート集計数×100】 目標:88% 実績:98% ◆青少年文化事業への参加者数 目標:2,620人 実績:2,279人 ◆青少年文化事業の実施回数 目標:25回 実績:68回	現状維持	引き続き、青少年に対して交流の機会・場所を提供し学習・文化・ボランティア事業等を実施していくことで、さらなる活発な青少年の健全育成につなげていく。	
環境教育推進事業 【環境政策課】	環境教育出前講座を開催するとともに環境白書、環境副読本の発行・配布による環境情報の発信などにより、市民一人ひとりの年齢や社会的役割に応じた多様な環境教育の機会を提供	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 37回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計34園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 43回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計42園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出式:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持ちきっかけとなったと思う」と回答した園の数／アンケート回答数×100】 目標:90% 実績:100% ◆環境出前学習参加者数 目標:4,500人 実績:3,095人 ◆環境出前学習実施回数 目標:52人 実績:43人 ◆エコライフつうしんぼ提出人数 目標:2,280人 実績:894人 ◆エコライフつうしんぼ申込人数 目標:2,810人 実績:1,418人	現状維持	エコライフつうしんぼについては、申込人数に対する提出人数が減少しているため、提出率が上がるよう試みてゆく。	
文化財活用事業 【文化財課】	市民の文化財に対する認識を深め、文化財保護意識の高揚を図るため、文化財に関する各種催しを実施	◆主な文化財活用事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①古文書講座 入門講座 5回 221人 ②文化財報告会「百済寺関連イベント」 53人 ③ジュニア文化財学級「やよいのハテナ?～やよいよいとこよいくらし?～」 6人 ④古文書講座 中級講座 5回 219人 ⑤くらわんか鋳物ツーリズム2022 寿ダイカスト工業(株) 19人 ⑥くらわんか鋳物ツーリズム2022 コマツ枚方工場 20人 ⑦市民歴史講座・市民歴史ウォーク「百済寺跡と周辺をぶらり歴史ウォーク」 19人 ⑧くらわんか鋳物ツーリズム2022 クボタ枚方製造所 22人 ⑨文化財防火デーに伴う消防訓練「光善寺(出口御坊跡)」 185人 ⑩市民歴史講座「寺内町の成立と変遷」―戦国時代大阪平野の経済発展とのかかわり― 95人 ⑪市民歴史講座「枚方寺内町の立地について」 95人 ⑫市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊一枚方宿を歩こう」 8人 ⑬考古学講座「古代の瓦にふれてみよう」 9人 ⑭市民歴史講座「弥生時代の枚方」 66人	◆主な文化財活用事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①古文書講座 入門講座 5回 226人、中級講座 5回 207人 ②令和4年度文化財報告会 38人 ③ジュニア文化財学級「古墳のハテナ」 6人 ④くらわんか鋳物ツーリズム2023 コマツ枚方工場 22人、寿ダイカスト工業(株) 19人、クボタ枚方製造所 15人 ⑤特別史跡百済寺跡築地塙工事見学会 4回 延べ108人 ⑥市内歴史ウォーク「歩いてみよう! 楠葉」 17人 ⑦市民歴史講座「江戸幕府の摂河治水システムと堤防保全策」27人 ⑧市民歴史講座「国登録有形文化財(建造物)登録記念鍵屋別棟見学会」 25人 ⑨文化財防火デーに伴う消防訓練「旧田中家鋳物民俗資料館」 80人 ⑩考古学講座「中世のひらかたを学ぶ」 10人 ⑪枚方まつり 文化財課ブース 百済寺跡啓発 300人	◆受講者アンケートで「満足」と回答したもの割合【算出式:受講者アンケートにて「満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:89% ◆講座等の参加者数 目標:1,280人 実績:2,364人 ◆講座等の実施件数(延べ) 目標:15人 実績:17人	現状維持	きらら展示ルームや本庁舎での遺物展示や発掘調査報告会・市民歴史講座の開催などこれまでの取り組みに加え、市民の文化財への理解、保護意識の醸成や市内外への啓発のため、鍵屋資料館の建物を利用したイベントやICT技術を活用した映像体験など効果的な普及啓発活動の手法の研究と実践を行っていく。	

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 46回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計36園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本、エコカレンダーの発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付
◆主な文化財啓発事業 年間事業数及び参加延べ人数 ①文化財連続講座 4回 436人 ②市民歴史講座「ひらかた歴史探検隊-枚方宿を歩こう-」 1回 23人 ③「聞く・見る・歩く 北河内バート19」 3回 枚方市68人、北河内178人 ④ジュニア文化財学級「弥生時代の生活を学ぼう!」 1回 7人 ⑤市内歴史ウォーク「歩いてみよう! 交野ヶ原」 1回 14人 ⑥考古学講座「地形と遺跡」 2回 98人 ⑦文化財防火デーに伴う消防訓練「御殿山神社」 122人

1. 市民の学びを支える

- (1)学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供
②現代的・社会的課題に関する学習機会の充実

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
人権啓発事業 【人権政策室】	「枚方市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、人権週間事業や各方面で活躍している人の体験や生き方から人権問題を学ぶ「連続講座『生きること』」などの各種講演会の開催、情報提供、冊子作成を実施	◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 ②連続講座「生きること」(4回) 319人 ③人権文化セミナー (1回) 76人 ④人権週間事業 (1回) 152人 ⑤北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 総合文化芸術センターマルチスペース1でのパネル展示のため参加者数不明	◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 ②連続講座「生きること」(3回) 144人 ③人権文化セミナー (1回) 93人 ④人権週間事業 (1回) 292人 ⑤北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業 DVD「めぐみ」上映 42人 「拉致問題を考えるパネル展」 パネル展示のため参加者数不明	◆人権啓発事業(人権文化セミナー、人権週間事業)のアンケート結果における「とても良かった」及び「良かった」の割合。実績ベース(91%)から毎年1%を目途に上昇を目指し、R5年度は95%を目標とする。 【算出式:「とても良かった」及び「良かった」と回答した人数/アンケート回答数×100】 目標:95% 実績:97% ◆人権啓発に関する各種イベントへの延べ参加人数 目標:1,000人 実績:571人 ◆人権啓発に関する各種イベントの開催回数 目標:4回 実績:6回	現状維持	インターネット上の誹謗中傷や性的マイノリティの人権など、人権問題が多様化複雑化する中で、「あらゆる人権侵害を許さない」という市の姿勢が伝わる啓発事業を、枚方人権まちづくり協会と連携するなど引き続き進めていく。	
DV防止事業 【人権政策室】	DV防止啓発講座やDV被害者支援研修を開催 DV被害者支援体制の充実を図るため専門相談窓口として、枚方市配偶者暴力相談センター「ひらかたDV相談室」を開設	◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①DV被害から回復するための教育プログラム(講座)など 7回 29人 ②DV予防教育プログラム 2,174人 ・10小学校24学級の4年生 653人 ・9中学校45クラス 1,521人 ③教職員研修 226人(10小学校の教職員)	◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①DV被害から回復するための教育プログラム(講座)など 7回 19人 ②DV予防教育プログラム 3,030人 ・8小学校21学級の4年生 605人 ・14中学校68クラス 2,425人 ③教職員研修 213人(8小学校の教職員)	◆「暴力は受ける側にも問題や原因があると思う」と答える中学生の割合【算出式:アンケートにより暴力は受ける側にも問題や原因があると思うと回答した人数/アンケート回答者数×100】 目標:35% 実績:53% ◆DV予防教育プログラム参加児童(小学生) 目標:800人 実績:605人 ◆DV予防教育プログラム実施校(小学校) 目標:13校 実績:8校	現状維持	DV防止に向けては、子どもたちが互いの意見を聞きながら主体的に考える現行手法が効果的であることから、引き続き、教育委員会と連携して取り組む。	
男女共同参画啓発事業 【人権政策室】	男女共同参画の推進をめざし、各種啓発講座等や、市民団体参加の実行委員会形式で「ウィル・フェスタ」を開催。また、男女共同参画を目指す情報誌「モアメイド」「男女共生フロアだより」を発行 市民の自主学習や団体活動の支援及び相互の連携、交流を支援	◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会 (動画配信及び動画上映会) 164人 ②啓発講座等 (動画配信含む) 8回 380人	◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会(動画配信及び動画上映会) 95人 ②啓発講座等 12回 354人	各種アンケートにより男女共同参画に主体的に参加したいと回答する人の割合【算出式:アンケートにより今後も男女共同参画の推進に積極的に参加したいと回答した人数/アンケート回答者数×100】 目標:91% 実績:0% ◆男女共生フロア・ウィル登録団体と企画・実施した事業の数 目標:2件 実績:2件 ◆男女共生フロア・ウィル登録団体との協議の回数 目標:11回 実績:10回	現状維持	男女共生フロア・ウィルの移転に伴い、これまでウィルに訪れることのなかった市民も増加するため、ウィルの周知と合わせ、登録団体と協働し、親子などを対象にした効果的なイベント実施に向け検討を行う。	

(参考)

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆主な人権啓発事業 開催回数及び参加者数 ①講座冊子「生きること」の作成 4回 145人 ②連続講座「生きること」 1回 140人 ③人権文化セミナー 1回 291人 ④人権週間事業及び北朝鮮人権侵害問題啓発週間事業
◆主なDV防止事業 開催回数及び参加者数 ①女性に対する暴力をなくす運動週間事業(講座)など 19回 388人 ②DV予防教育プログラム 1,585人 ・5小学校 12学級の4年生 337人 ・7中学校 35クラスの2年生 1,248人 ③教職員研修 140人(5小学校の教職員)
◆主な男女共同参画啓発事業 開催回数及び参加者数 ①男女共同参画週間事業講演会 1回 52人 ②啓発講座等 27回 458人 ③ウィルフェスタ 1回 949人

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
平和に関する啓発事業【人権政策室】	・市民への日本国憲法の理念の定着や平和意識の醸成のため啓発事業を実施 ・非核平和都市宣言の啓発と、核兵器の廃絶を求め、平和な社会を実現するための啓発 ・「枚方市平和の日」のある3月を平和月間と位置付け、各種の平和に関する取り組みを実施	◆主な平和に関する啓発事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい 参加者数 93人 ②ひらかた平和フォーラム 参加者数 293人 ③平和の燈火(あかり)(1回) 参加者数 約1,200人 プレ事業 再生キャンドル作り教室 参加者数 21人 ④夏季平和事業 高校生が描いた「原爆の絵」パネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 平和資料室特別展 高校生が描いた「原爆の絵」展 参加者数 694人 平和の語り部 「核兵器のない世界へ」参加者数 24人 平和ライブラリーコンサート夏(1回) 参加者数 90人 ⑤妙見山煙突突見学会(2回) 参加者数 561人 ⑥市内の戦争遺跡ウォーキングツアー(1回) 参加者数 23人 ⑦沖縄本土復帰50周年記念パネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 ⑧平和ライブラリーコンサート 春(1回) 145人	◆主な平和に関する啓発事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい 参加者数 203人 ②ひらかた平和フォーラム 参加者数 654人 ③平和の燈火(あかり)(1回) 参加者数 約1,000人 プレ事業 平和の絵の制作 参加者数70人 ④夏季平和事業・「戦争日記～鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々～」ミニパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明 ⑤夏季平和事業・平和資料室特別展 「戦争日記～鉛筆1本で描いたウクライナのある家族の日々～」パネル展 参加者数 647人 ⑥夏季平和事業・平和ライブラリーコンサート夏(1回) 参加者数 105人 ⑦妙見山煙突突見学会(2回) 参加者数 394人 ⑧市内の戦争遺跡バスツアー(1回) 参加者数 19人 ⑨禁野火薬庫のミニパネル展 市役所別館1階で開催のため参加者数不明	◆主な平和啓発事業のアンケート結果における「大変満足した」及び「まあ満足した」の割合。実績ベース(86%)から毎年1%を目途に上昇を目指し、R5年度は90%を目標とする。 【算出式:「大変満足した」及び「まあ満足した」と回答した人数/アンケート回答数×100】 目標:90% 実績:90% ◆平和に関する啓発イベントへの延べ参加人数 目標:6,700人 実績:3,092人 ◆平和に関する啓発イベントの開催回数 目標:15回 実績:11回	現状維持	事業の趣旨と集客力の双方に視点を置いた企画や関係部局との連携により、より効果的な啓発を行うとともに、課題である若年層への啓発として、学生との連携や令和4年度に作成した平和啓発冊子の活用にも一層取り組む。	
地域防災推進員育成事業【危機管理政策課】	各校区自主防災組織の選出者と一般公募による参加者を対象に防災に関する知識と技能を習得するための外部講師による座学、消防吏員の指導による救出・救助用資機材・消火器の取扱い方法などの実技を行う地域防災推進員育成研修会及び地域防災専門研修を開催	◆地域防災推進員育成研修会・地域防災専門研修 ①開催日:令和4年11月19日、12月3日 ②内容:11月19日→地域防災推進員育成研修会(基礎研修) 12月3日→地域防災専門研修(応用研修) ※地域防災専門研修はR4年度より開始 ③参加人数:11月19日→29人、12月3日→33人	◆地域防災推進員育成研修会・地域防災専門研修 ①開催日:令和5年11月18日、12月2日 ②内容:11月18日→地域防災推進員育成研修会(基礎研修) 12月2日→地域防災専門研修(応用研修) ③参加人数:11月18日→26人、12月2日→24人	◆地域防災推進員育成研修会修了者数【累計】 目標:1,220人 実績:880人 ◆地域防災推進員育成研修会の修了者数 目標:90人 実績:26人 ◆地域防災推進員育成研修会の開催回数 目標:1回 実績:1回	現状維持	引き続き研修を実施し、地域の防災対策の充実化に繋げていく。本研修の修了者へのフォローアップ等の観点から、専門研修についても継続して実施する。また、女性視点の避難所運営やLGBTQ等、多様な被災者への対応を見据え、今後も研修内容の見直し等に取り組み、更なる内容の充実化に努める。	
消費生活センター機能拡充事業【危機管理政策課】	消費者行政・推進事業補助金を活用し、消費生活センター機能の充実及び消費者行政の啓発充実を図る事業を実施	【事業実績】 ①教育機関への消費者教育支援(市内小中学校の児童・生徒、教職員及び保護者への研修 計20,714人) ※全児童・生徒等が受講できるよう、令和3年度より動画配信方式に改めて実施 ②消費生活相談員への研修支援 ③「詐欺被害防止ポップアップシール」「訪問勧誘お断りステッカー」の作成	【事業実績】 ①教育機関への消費者教育支援(市内小中学校の児童・生徒、教職員及び保護者への研修 計22,249人) ※全児童・生徒等が受講できるよう、令和3年度より動画配信方式に改めて実施 ②消費生活相談員への研修支援 ③見守り活動物品「メッシュポケットポーチ」、啓発冊子「契約とお金のルール」の作成 ④消費者講演会の実施	◆相談者の満足度【算出式:相談結果への満足度に関するアンケートで「満足」「概ね満足」と回答した人数/アンケート回答者数×100】 目標:100% 実績:100% ◆情報の共有化を行うことで知識の習得に繋がった相談員の延べ人数 目標:42% 実績:32% ◆年間研修参加人数 目標:7人 実績:7人	現状維持	複雑化・多様化する相談に適切かつ迅速に対応するため、引き続き研修の機会を確保し、相談員の知識の習得に努める。	①については令和6年度より児童生徒課により単独で実施

事業内容	具体的な取り組み(実績)	H30
◆主な非核平和都市宣言推進事業 開催回数及び参加者数 ①憲法のつどい 参加者数 210人 ②ひらかた平和フォーラム 参加者数 447人 ③平和の燈火(あかり) 参加者数 約1,800人 ④平和資料室特別展「原爆の絵」展 入場者数 699人 ⑤夏季平和事業 平和資料室特別展「サダコと折り鶴ポスター」展 参加者数 797人 夏休み平和映画会「チョッチャン物語」 参加者数 20人 「ぞう列車がやってきた」 参加者数 17人 平和ライブラリーコンサート 参加者数 108人 大人の学校 参加者数 28人 枚方まつり 平和ブース 参加者数 63人 ⑥平和ライブラリーコンサート 春 参加者数 111人 ⑦妙見山煙突突見学会 参加者数 286人 ⑧バスで巡る市内の戦争遺跡(2回) 参加者数 40人 ⑨企画展「世界ヒバクシャ展」 入場者数 760人 ⑩ギャラリートーク 参加者数 21人 ⑪平和映画会 映画『この世界の片隅に』 参加者数 347人		
◆地域防災推進員育成研修会 実技 11月10日(土)・12月1日(土)開催 座学 11月25日(土)・12月12日(土)開催 ①参加者数 52人 ②実技 資機材の取り扱い訓練・災害想定訓練、HUG訓練 ③座学 枚方市の防災体制・地域防災推進員の活動について、 枚方市における水害リスクについて 広島県の災害ボランティアについて		
◆主な消費者行政啓発事業 開催回数及び参加者数 ①学校講演会 小中学校14校(教職員向け研修1回含む) 延べ5,720人 ②消費生活セミナー 209人 ③消費者教育講演会 130人 ④出前講座 18回 3,129人		

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
生涯学習事業(朝鮮語教室運営事業) 【文化生涯学習課】	ハングルの学習を通じて、隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流を推進	【開催実績】 ①参加延べ人数 1,096人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)	【開催実績】 ①参加延べ人数 955人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。	
自殺予防対策事業 【保健医療課】	自殺予防に係る情報提供と啓発	◆ゲートキーパー養成研修の実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施。 ◆自殺予防啓発(デジタルサイネージ) 場所:京阪電車 枚方市駅構内 実施回数:2回 ◆自殺予防啓発グッズ・冊子の配布 場所:保健所等 実施回数:2回 ◆広報ひらかたへの啓発記事掲載 実施回数:2回(9月・4月)	◆ゲートキーパー養成研修の実施 職員向け研修1回、市民向け研修1回実施。 ◆心のサポーター養成研修 オンライン2回、対面1回実施。 ◆自殺予防啓発(デジタルサイネージ) 場所:京阪電車 枚方市駅構内 実施回数:2回 ◆自殺予防啓発リーフレットの配布 配布先:健康優良企業 実施回数:1回 ◆広報ひらかたへの啓発記事掲載 実施回数:2回(9月・3月)	◆自殺死亡率【算出式:自殺死亡数／人口×10万】 目標:11.0%以下 実績:14.90% ◆「ひらかた いのちのホットライン」を知っている人の割合 目標:60%以上 実績:53.9% ◆啓発グッズの配布など「ひらかた いのちのホットライン」の周知を実施する回数 目標:4回 実績:2回 ◆ゲートキーパー養成研修における理解度。受講後「理解できた」と回答した割合 目標:70%以上 実績:98% ◆ゲートキーパー養成研修を受講した人数 目標:1回 実績:6回 ◆自殺予防に係る講演会等の参加者数 目標:90人 実績:53人 ◆自殺予防に係る講演会等の実施回数 目標:1回 実績:6回	現状維持	関係機関や団体と引き続き連携をし、周知啓発の継続をはじめ個別での相談や支援の充実を図る。	
精神保健福祉事業 【保健医療課】	精神障害者の早期治療、社会復帰や自立を促進するため、精神科医等によるこころの健康相談を行うとともに、講演会の開催等精神疾患に関する正しい知識を普及・啓発	◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施 ②精神保健家族教室 新型コロナウイルス感染症感染拡大により、未実施 ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ◆こころの健康相談(精神科医) 実施回数:48回(年間) 場所:保健所等 ◆こころの健康相談会 実施回数:1回(3/14日曜日に開催) 場所:保健所 ◆心のサポーター養成研修 実施回数:2回(1/18、1/24) 場所:オンライン	◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会(1回実施) ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施 ◆こころの健康相談(精神科医) 実施回数:78回(年間) 場所:保健所等 ◆こころの健康相談会 実施回数:1回(3/17日曜開催) 場所:保健所	◆本人や家族、関係機関等からのこころの健康相談件数 目標:4,900件 実績:5,761件 ◆講演会等の参加者数 目標:130人 実績:53人 ◆講演会や研修会の実施回数 目標:2回 実績:1回 ◆家族教室の参加者のべ数 目標:300人 実績:0人 ◆家族教室の開催件数 目標:30件 実績:0件	現状維持	心身の不調を感じた市民のより身近な相談先として幅広く周知し、適切な支援に早期につながるよう専門職の対応を継続する。	

事業内容		
具体的な取り組み(実績)		
H30		
【開催実績】 ①参加延べ人数 1,330人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)		
◆平成31年3月「枚方市いのちを支える行動計画(自殺対策計画)」を策定 計画期間 令和元年～令和5年 ◆ゲートキーパー養成研修の実施 計3回実施 参加人数 延べ126人 ◆自殺予防啓発のための映画上映会の実施 計1回実施 参加人数 88人 ◆自殺予防啓発グッズの配布 場所:京阪電車 枚方市駅・樟葉駅 実施回数:2回		
◆講演会等による普及・啓発 ①精神保健講演会 計3回実施 参加人数 延べ126人 ②精神保健家族教室 計3回実施 参加人数 延べ103人 ◆モバイルメンタルチェックシステム「こころの体温計」の実施		

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
ハンセン病問題解決に係る啓発事業【健康福祉政策課】	ハンセン病回復者等に対する偏見と差別のない社会の実現に向けて、市民等を対象とした講演会の開催、ちらし・リーフレット等の配布によるハンセン病問題に関する啓発	◆「ハンセン病を正しく理解しましょう」をテーマにホームページで周知・啓発を実施 ①実施期間 2月9日～3月31日 ②閲覧数 536人	◆「ハンセン病を正しく理解しましょう」をテーマにホームページで周知・啓発を実施 ①実施期間 2月9日～3月31日 ②閲覧数 544人 ◆枚方市健康・医療・福祉フェスティバルでの啓発を実施(参加延べ人数 1,096人) ①DVD上映「地域で生きる」 ②リーフレット配布「ハンセン病の向こう側」	◆イベント等への参加を通して人権意識の向上につながった人の割合【算出式:啓発事業来場者アンケートで、「人権意識が向上した」と回答した人の数／回収数】 目標:80% 実績:67.19% ◆イベント等の参加者数 目標:200% 実績:331% ◆啓発事業の実施回数 目標:1回 実績:1回	現状維持	引き続き、啓発を行い、本市職員及び市民の人権意識の向上を図る。	◆ハンセン病問題をテーマにした講演会、パネル展示、DVD上映 ①開催日 11月9日～11月14日 (講演会:11月14日) ②参加者数 講演会:40人、パネル展示・DVD上映:142人
食育推進事業【健康づくり課】	第2次枚方市食育推進計画(計画期間:H25～H29)の推進 小学5年生及び15歳以下の子どもを持つ保護者を対象とした「ひらかた食育Q&A」の配付 「枚方市食育推進ネットワーク会議」と連携し、ひらかた食育カーニバルを開催	◆「第3次枚方市食育推進計画」に基づく食育啓発 ①「ひらかた食育Q&A(改定版)」の配付(幼児用・小学生用・中高生用・大人用) 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校や、市主催の講座にて配付 配付数 12,700冊 ②「食育リーフレット」の配付 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校、各地域への回覧や、市関連施設等で配付 配付数 40,000部 ③「食育カレンダー」の配付 市内の小中学校の各教室分と、保育所(園)、幼稚園等に各1枚掲示できるよう配付 配付数 1,100枚 ◆ひらかた食育カーニバル オンライン開催(講演会は集客型で開催) 令和5年2月1日～2月28日(令和5年1月19日よりプレオープン) 期間限定の特設サイトに各団体が作成したコンテンツを掲載。 講演会を実施し、後日オンデマンド配信。 サイト閲覧者数:3,293人 サイト閲覧数:19,009回	◆「第3次枚方市食育推進計画」に基づく食育啓発 ①「ひらかた食育Q&A(改定版)」の配付(幼児用・小学生用・中高生用・大人用) 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校や、市主催の講座にて配付 配付数 10,750冊 ②「食育リーフレット(テーマ:朝食)」の配付 市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校、各地域への回覧や、市関連施設等で配付 配付数 40,000部 ◆ひらかた食育カーニバル オンライン開催に加え集客型イベントのハイブリット開催 令和6年2月1日～2月29日(令和6年1月19日よりプレオープン) 期間限定の特設サイトに各団体が作成したコンテンツを掲載。講演会は集客型で開催し、後日オンデマンド配信を行った。集客型イベントを市内各所に開催。 特設サイト閲覧者数(実人数):3,013人 特設サイト閲覧数:6,945回 参加型イベント参加者数:1,519人 講演会参加者数:22人(オンデマンド:544回)	◆朝食を欠食している小学生の割合【全国学力・学習状況調査による】 目標:0% 実績:6.8% ◆食に関する知識を啓発するための冊子「ひらかた食育Q&A」の実施数 目標:12,000人 実績:10,750人 ◆枚方市食育推進ネットワーク会議の開催回数 目標:3回 実績:2回 ◆ひらかた食育カーニバル参加者アンケートで「食育に関心がある」と回答した人の割合【算出式:食育に関心があると回答した人／アンケート回答者×100】 目標:80% 実績:97% ◆ひらかた食育カーニバル参加者数(延べ人数) 目標:6,000人 実績:8,486人	見直し	デジタル化の推進など情報発信の方法を工夫し、多くの市民に食育への関心をもってもらえるよう、食育推進の取組を進めていく。また、第4次枚方市食育推進計画において、「1日のうち2食以上、主食・主菜・副菜をそろえた食事をしている人の増加」を優先課題として取り組むとしたため、アウトカムの見直しが必要。	第4次枚方市食育推進計画(R6～R17)に合わせて一部見直し
健康づくり推進事業【健康づくり課】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 15人 フォローアップ研修参加者数 延べ 52人 参加者数 1,992人 ◆地区組織活動 ◆健康増進計画推進事業 「健康のつどい」 YouTube配信・展示会実施 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 564人 ウォーキングマップ 達成者数 699人 120日チャレンジ 達成者数 865人 ◆食育推進 食育カーニバル 達成者数 865人 客型で開催) オンライン開催(講演会は集	◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成講座参加者数 延 64人 フォローアップ研修参加者数 延べ 85人 参加者数 2,140人 ◆地区組織活動 ◆健康増進計画推進事業 「健康のつどい」 YouTube配信・展示会実施 ◆健康フェア 大学健康フェア 参加者数 419人 その他健康フェア 参加者数 988人 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 590人 ウォーキングマップ 達成者数 963人 120日チャレンジ 達成者数 1,593人 ◆健康教育 参加者数 2334人 ◆健康相談 参加者数 2825人	◆事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】 目標:78% 実績:95.14% ◆健康づくりボランティア数 目標:325人 実績:182人 ◆健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数 目標:9回 実績:8回 ◆地区組織活動への参加者数 目標:3,972人 実績:1,322人 ◆地区組織活動の実施回数 目標:130回 実績:65回 ◆ウォーキングイベント参加者数 目標:500人 実績:590人	見直し	第3次枚方市健康増進計画において、働く世代の健康づくりに課題が多くなった。過去や現在の生活習慣が、将来の自身の健康、子どもの健康に影響すること踏まえ、生涯を通じて健康づくりに取り組めよう支援していく。第3次枚方市健康増進計画の内容にあわせて、ロジックモデルの見直しが必要。	第3次枚方市健康増進計画(R6～R17)に合わせて一部見直し
ひきこもり等子ども・若者相談支援事業【まるっと子どもセンター】	「ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」などにより、ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者の社会的自立に向けた総合的な支援の推進	◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み 子ども・若者支援のための市民講座「ひきこもりを経験した若者の声」 会場参加者数 25人 動画申込者数 62人 動画視聴回数 111回	◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み ①子ども・若者支援のための市民講座「経験者からのメッセージ」 会場参加者数 24人 動画申込者数 94人 動画視聴回数 157回 ②サポートフレンド養成講座(全3回) 参加者数 35名 ボランティア登録者数 28名	◆「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で相談を受けている利用者が来所時より自立方向に変化した人の割合【算出式:利用者の内、来所時より自立方向に変化した人／利用者全数×100】 目標:65% 実績:62.80% ◆「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で受け付けたのべ相談件数 目標:2,550件 実績:3,082件 ◆「枚方市ひきこもり等子ども・若者相談支援センター」で受け付けた新規相談件数 目標:100件 実績:94件	現状維持	相談者のニーズに応じた支援を展開していく。複雑化している相談にも適切に対応できるための施策を進める。	◆ひきこもり・ニート等の子ども・若者の社会的自立支援にむけた取り組み 子ども・若者支援のための市民連続講座 全4回実施 延べ参加者数 188人

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆ハンセン病問題をテーマにした講演会、パネル展示、DVD上映 ①開催日 11月9日～11月14日(講演会:11月14日) ②参加者数 講演会:40人、パネル展示・DVD上映:142人
◆食に関する基礎知識を有する人材の養成を目的とし、幼児用から大人用までライフステージごとに4種類の「ひらかた食育Q&A(改定版)」を作成・配付 ◆「第3次枚方市食育推進計画」に基づく新たな取り組みとして、食育に関するさまざまなテーマを広く市民に啓発するための「食育リーフレット」を枚方市食育推進ネットワーク会議での意見を踏まえながら作成し、市内の保育所(園)、幼稚園、小中学校、各地域への回覧や、市内大学で開催された「健康フェア」内の啓発ブース、小中学校で開催される保護者向けの給食試食会等で配付 ◆食育体験活動を行う企業やボランティア団体等の「地域人材」に関する情報を集約することで、出前授業や体験学習を推進する「食育地域人材リーフレット」を新たに作成し、市内小中学校へ配付 ◆ひらかた食育カーニバル ①開催日 3月3日(日) ②参加者数 延べ6,295人 ③開催内容 食育に関する講演会や伝統食の試食会など
◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 13人 研修参加者数 延べ 345人 ◆地区組織活動 参加者数 3,681人 ◆健康増進計画推進事業 健康医療福祉フェスティバル内 保健センターブース < 台風接近のためイベント中止> 「健康のつどい」 参加者数 128人 ◆健康づくりエントリー等 健康ウォーキング 参加者数 175人 ひらかたカラダづくりトライアル バーチャルトライ 達成者数 95人 エンジョイトライ 達成者数 306人 ◆食育推進 食育カーニバル内 保健センターブース 参加者数 300人

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
自然保護啓発事業 【環境政策課】	都市に残された自然環境や市域に生息する動植物を守るとともに、人と自然が共生する環境づくりを推進	◆自然観察会の開催 ①「水辺の楽校」 天野川 参加者 57人 ②「セミの抜け殻調査と自然工作」 山田池公園 参加者数 32人 ③「葉っぱの観察と工作」 サプリ村野 参加者数 19人 ④「山田池公園昆虫教室」 山田池公園 参加者数 30人 ⑤「葉っぱや木の実でナチュラルアート」 山田池公園 参加者数 25人 ◆講演会の開催 ①自然環境を考える講演会 サプリ村野 参加者数 28人	◆自然観察会の開催 ①「水辺の楽校」 天野川 参加者 73人 ②「セミの抜け殻調査と自然工作」 山田池公園 参加者数 35人 ③「葉っぱの観察と工作」 サプリ村野 参加者数 25人 ④「山田池公園昆虫教室」 山田池公園 参加者数 50人 ⑤「葉っぱや木の実でナチュラルアート」 山田池公園 参加者数 32人 ◆講演会の開催 ①自然環境を考える講演会 サプリ村野 参加者数 30人	◆観察会等参加者のうち、自然を大切にしようと思った人の割合【算出式:アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人／アンケート回答数×100】 目標:90% 実績:89% ◆自然観察会等参加者数 目標:375人 実績:245人 ◆自然観察会等開催回数 目標:9回 実績:6回	現状維持	今後も、市民が自然環境に触れる機会を提供し、自然環境保護意識の高揚を図る。	
ごみ減量化啓発事業 【循環型社会推進課】	家庭ごみ減量のための「4R」の普及・啓発を基本に、ごみ問題についての関心や理解を深めるためごみ減量講演会やごみ減量フェア等を開催	◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発 ①生ごみ堆肥化の促進 ②環境学習の実施 ・小学校34校・中学校4校・幼稚園等29園 ③ごみ減量啓発キャンペーン(公共施設)の実施 ・マイバッグ・マイボトル持参キャンペーン6回 2,000人に啓発グッズを配布 ・台所ごみ水切りキャンペーン2回 381人に啓発グッズを配布 ・食品ロス削減キャンペーン12回 5,000人に啓発グッズを配布 ④「食べのこサンデー」運動ロゴマークを活用した食品ロス削減に向けた取り組み ・10月～3月末まで、公共施設・協力店舗・エコショップ登録店舗にポスター掲示 ・市内5大学の学園祭で啓発ハンドティッシュを配布(コロナ禍で中止) ⑤「ひらかた夢工房」市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを実施 ・生ごみ堆肥化講習会 10人の参加 ・施設見学(枚方支援学校)64人 ⑥小・中学生による環境ポスターコンクールを実施 ・491点の応募 ⑦ごみ減量フェア ・11月6日(日)開催(コロナ禍で中止) ⑧ごみ減量講演会『食品ロスを減らす、冷蔵所の収納術』 ・令和5年2月16日(木)開催 110人参加	◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発 ①生ごみ堆肥化の促進 ②環境学習の実施 ・小学校35校・中学校2校・幼稚園等29園 ③「リユース拡充(ジモティー掲示)」、「台所ごみ水切り」、「食べのこサンデー」等啓発 ・約 16,000人 ④マイボトル利用促進のため、庁舎や清掃施設内(出先機関含む)に給水スポット(給水機)を設置 ・生涯学習市民センター6か所に設置 ・令和5年9月～12月の間、給水スポット実証実験を市関連4施設で実施 ⑤「ひらかた夢工房」市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを実施 ・生ごみ堆肥化講習会 23人の参加 ・施設見学(枚方支援学校)64人 ⑥小・中学生による環境ポスターコンクールを実施 ・409点の応募 ⑦環境フェスタ ひらエコまつり(旧 ごみ減量フェア) ・11月5日(日)開催 (約2,000人来場) ⑧ごみ減量講演会『福島のことを語る人～食品ロスをぶっ飛ばせ～』 ・令和6年1月30日(火)開催 109人参加	◆ごみ減量に関する行動(夢工房来場者、サテライト発表会)を実施する市民の人数 目標:2,230人 実績:272人 ◆ごみ減量に関する各種啓発イベント等への参加人数 目標:22,377人 実績:16,255人 ◆ごみ減量に関する各種啓発イベント等の実施回数 目標:67回 実績:86回	現状維持	・ひらエコまつりを開催し、ごみ減量を推進する。 ・出張回収や市民の集まるイベントブースへの出展などごみ減量についての啓発を強化する。 ・環境教育や市民グループと連携し、生ごみの堆肥化など4Rを推進していく。	
里山保全事業 【農業振興課】	「枚方市里山保全基本計画」に基づき、森林保全や維持管理等の里山保全活動を行う里山ボランティアを育成するため、里山保全や樹木に関する連続講座を実施。	・里山楽校 全6回(講義、実習。)受講生18人のうち修了生16人 ・植物観察会 33人(春 14人・秋 19人)	・里山楽校 全8回(講義、実習。)受講生20人のうち修了生19人 ・植物観察会 30人(春 16人・秋 14人)	◆東部地域の里山に触れ合う機会があることで、心身ともに健康になり安らぎを感じている市民の割合【算出式:東部地域の里山に触れ合う機会があることで、心身ともに健康になり安らぎを感じていると答えた回答数/市民向けアンケートの回答者数】 目標:33% 実績:44% ◆里山保全団体への新規加入者数 目標:2人 実績:3人 ◆里山保全に関する講座等の開催数 目標:8回 実績:8回 ◆里山保全に関して新たに知識を得た市民の数 目標:220人 実績:154人 ◆里山保全に関する普及啓発活動の実施数 目標:4回 実績:4回	現状維持	ボランティア育成事業を通して、里山保全の取り組みへの参加者の増加を図り、里山の魅力・癒しを感じてもらえるイベント等を開催していく。	

事業内容	具体的な取り組み(実績)	H30
◆自然観察会の開催	①「水辺の楽校」 天野川 参加者数 57人	猛暑のため中止
②「セミの抜け殻調査と自然工作」 枚方市市民会館	参加者数48人	
③「葉っぱの観察と工作」 サプリ村野	参加者数 16人	
④「夏の山田池公園昆虫教室」 山田池公園	参加者数 63人	
⑤「葉っぱや木の実でナチュラルアート」 山田池公園	参加者数 17人	
◆講演会の開催	①「北河内の里山は森だったのか～枚方の自然を考えるヒントとして ～」	
枚方市市民会館	参加者数 57人	
◆市民・事業者と連携・協力しながら、4Rの普及・啓発	①生ごみ堆肥化の促進	
②環境学習の実施	・小学校39校・中学校3校・高校2校・幼稚園等29園	
③ごみ減量啓発キャンペーン(駅前・店頭等)の実施	・マイバッグ・マイボトル持参キャンペーン 18回 4,963人	
・台所ごみ水切りキャンペーン 8回 1,736人	・手付かず食品削減キャンペーン 14回 2,483人	
④「食べのこサンデー」運動ロゴマークを活用した食品ロス削減に向けた取り組み	・市内4大学の学園祭で啓発ハンドティッシュを配布	
⑤「ひらかた夢工房」市民ボランティアによる講習会・教室・発表会などを実施	⑥小・中学生による環境ポスターコンクールの作品展示	
⑦ごみ減量フェアを開催	・11月4日(日)開催 参加者数 3,800人	
⑧ごみ減量講演会『マイクロプラスチックの問題について』を開催	・3月11日(月)開催 参加者数 101人	
里山楽校 全6回(講義、実習。)修了生11人	森林スペシャリスト育成講座 全11回(講義、実習。)修了生8人	

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
社会教育活動推進事業 (社会教育(人権)講座等(※社会教育(人権)講座)) 【教育政策課】	社会教育(人権)講座などを通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	◆社会教育(人権)講座等の開催 ①ヤングケアラー～家族のケアを担う子どもたち～ 参加者 50人	◆社会教育(人権)講座等の開催 ①人形劇でこころをつなごう 参加者 23組51人	◆参加者に対するアンケート結果 (満足度)【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:92.04% ◆講座参加者延べ人数 目標:4,130人 実績:3,686人 ◆開催講座数 目標:614回 実績:616回	現状維持	講座実施後のアンケート調査で市民のニーズを把握したり、世間で話題になっているような内容を企画することで、より多くの市民が参加したくなるような事業の実施に努める。	
社会教育活動推進事業 (社会教育基礎講座) 【教育政策課】	社会教育基礎講座を通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	◆社会教育基礎講座の開催 ①キャッシュレスってなに? ～お金の払い方を考える～ 参加者 35人 ②シニア向け スマホでできる防災対策教室 参加者 18人 ③インターネット安全教室～そのメッセージ、信じて大丈夫?～ 参加者 29人	◆社会教育基礎講座の開催 ①人生100年時代のライフプランと資産運用① 参加者 29人 ②人生100年時代のライフプランと資産運用② 参加者 25人 ③子育て世代のためのマネープラン～将来のために備えよう～ 参加者 32人	◆参加者に対するアンケート結果 (満足度)【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:92.04% ◆講座参加者延べ人数 目標:4,130人 実績:3,686人 ◆開催講座数 目標:614回 実績:616回	現状維持	講座実施後のアンケート調査で市民のニーズを把握したり、世間で話題になっているような内容を企画することで、より多くの市民が参加したくなるような事業の実施に努める。	
社会教育活動推進事業 (家庭教育支援事業) 【教育政策課】	家庭教育支援事業を通して、人が地域で生活するのに必要な基礎的な知識や技術を提供	◆家庭教育支援事業 ①夏休み親子講座「おみせやさんごっこ」で学ぶ『お金』のこと 参加者 15組33人 ②子育て応援! 親学び講座 3回実施 参加者 計26人 ③教育講演「子どもを育てる」大人から「子どもが育つ」大人へ～変化の時代を生きる～(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 116人 ④ストレスマネジメント～思春期の子どもに向き合うために～ 参加者 26人 ⑤春休み親子で楽しむ「燃料電池実験教室」 参加者 8組18人 ⑥「ねえこのほんよんで～乳幼児期の読み聞かせて育む、子どもの未来～」 参加者 33人	◆家庭教育支援事業 ①親子で参加講座「親子で楽しもう! LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～」 参加者 8組17人 ②思春期セミナー「思春期のいまどきネットトラブル事情～うちの子、大丈夫? 後払い決済から闇バイトまで～」 参加者 23人 ③教育講演会「これからを生きる子どもたちにできること～時代を見ずえ、備える～」(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 109人 ④子育て応援! 親学び講座「守りたい子どもがいるからこそ知っておきたい防災対策&子育て座談会」 参加者 9人 ⑤親を考えるセミナー「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」(人権政策課との共催事業) 参加者 64人 ⑥親子で参加講座「春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～」 参加者 10組28人	◆参加者に対するアンケート結果 (満足度)【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:92.04% ◆講座参加者延べ人数 目標:4,130人 実績:3,686人 ◆開催講座数 目標:614回 実績:616回	現状維持	講座実施後のアンケート調査で市民のニーズを把握したり、世間で話題になっているような内容を企画することで、より多くの市民が参加したくなるような事業の実施に努める。	

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆社会教育(人権)講座等の開催 ①社会教育人権啓発事業「発達障がいのある大人の当事者からのメッセージ ～発達障がい当事者の現状や必要なサポートについて考えてみませんか?～」 参加者数 84人 ②枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」 参加者数 延べ2,482人
◆社会教育基礎講座の開催 ①地域で支える認知症 ～誰もがいつまでも安心して暮らせる社会をつくる～ 参加者数 66人 ②災害から身を守る! ～今すぐできる対策、教えます～ (子育て世代編) 参加者数 12人 ③災害から身を守る! ～今すぐできる対策、教えます～ (シニア編) 参加者数 22人
◆家庭教育支援事業 ①親子でさがそう! テリメンモンスター! 参加者数 37人 ②複雑化・深刻化する思春期の“いじめ” ～子供たちのSNSの現実、知っていますか?～ 参加者数 29人 ③「親学び講座」 参加者数 10人 ④「教育講演会 大切な人の『思い』とともに…」 参加者数 366人 ⑤「これって、過保護? 過干渉 ～子どものやる気を引き出すために～」 参加者数 21人 ⑥親子でつくろう! オリジナルスピーカー! 参加者数 35人

1. 市民の学びを支える
(1)学びのきっかけづくりと学びの場(機会)の提供
③学習機会に対する情報提供の充実

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
広報ひらかた発行事務 【広報プロモーション課】	多彩な情報を市民にわかりやすく提供し、紙面への市民参加やコミュニティの促進などを図るため、広報紙を月1回及び必要に応じて年4回を限度に特集号・臨時号を発行し、全戸配布。イベントや市政情報などをタイムリーに編集。視覚障害者向けの点字録音広報発行	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,289,200部	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,290,800部	◆スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合【算出式:「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:93% ◆年間配布部数(通常号のみ) 目標:2,230,000部 実績:2,290,800部 ◆年間発行回数(通常号のみ) 目標:12回 実績:12回	現状維持	引き続き市が力を入れる施策や市の魅力を紹介する紙面づくりを行うとともに、市民生活に直結する重要なお知らせを最優先にした紙面構成に取り組む。	
ホームページ活用事業 【広報プロモーション課】	様々な市政情報を迅速に提供するため、ホームページシステム(CMS)を活用し、注目情報などトップページの充実を図るとともに、ツイッターによる情報発信を実施	イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数 1,335,431件 年間ユーザー数 4,864,092件	イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数1,597,049件 年間ユーザー数 4,040,033件	◆市ホームページの年間ユーザー数 目標:3,722,000件 実績:4,040,033件 ◆新規に作成または更新されたホームページ数 目標:2,400件 実績:1,788件 ◆各課ホームページ担当者への研修、頼りになる広報課へのホームページに関する相談の合計 目標:5件 実績:135件 ◆市公式ツイッター・フェイスブック・LINEによる投稿数(自動発信を除く) 目標:1,700件 実績:2,630件 ◆各課からの市公式SNS発信依頼件数 目標:1,200件 実績:2,185件	現状維持	紙面では伝えきれない情報をより見やすく分かりやすくするためにはページの構成やわかりやすい見出しの設定など、今以上に工夫や思考を凝らして制作していく必要がある。各課にも周知し、知りたい情報にしっかりとたどり着けるように引き続き改善を進める。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:55,311件(内訳) ・一般団体利用 50,153件 ・行政による利用 1,388件 ・センターの主催や共催などによる利用 3,770件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:55,311件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。	

事業内容	
具体的な取り組み(実績)	
H30	
A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,251,300部	
イベント情報など市政情報全般を随時更新して提供 年間アクセス数 2,226,456件 年間ユーザー数 2,536,919件	
◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:63,304件(内訳) ・一般団体利用 57,168件 ・行政による利用 1,485件 ・センターの主催や共催などによる利用 4,651件	

主な事務事業	事業内容			指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
「なんでも、どこでも出前塾」 実施事業 【文化生涯学習課】	各施策担当課職員が市民団体に outgoing、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HP で発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 125件 開催件数 135件	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 124件 開催件数 147件	◆満足度(実施報告書より)実施報告書に満足であったと回答した割合。【算出式:「満足」と回答した開催講座数／開催講座数×100】 項目:「満足」「普通」「不満」 目標:80% 実績:98% ◆出前講座実施回数 目標:140回 実績:147回 ◆出前講座メニュー数 目標:120件 実績:124件 ◆HPアクセス件数 目標:1500件 実績:939件 ◆「学びの情報ひろば」HP掲載件数(講師紹介件数+登録団体件数) 目標:1,200件 実績:713件	現状維持	引き続き市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供するため、本事業を継続実施する。また、「学びのひろば」については、より多くの生涯学習に関する情報を提供できるよう、引き続き努力する。	
環境教育推進事業(再掲) 【環境政策課】	環境教育出前講座を開催するとともに環境白書、環境副読本の発行・配布による環境情報の発信などにより、市民一人ひとりの年齢や社会的役割に応じた多様な環境教育の機会を提供	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 37回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計34園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆主な環境教育事業 ①幼児のための環境教育出前講座 開催数 43回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計42園 ②環境教育、学習プログラムの普及 ③環境白書、環境副読本の発行や配布による環境情報の提供 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付	◆出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合【算出式:アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数／アンケート回答数×100】 目標:90% 実績:100% ◆環境出前学習参加者数 目標:4,500人 実績:3,095人 ◆環境出前学習実施回数 目標:52人 実績:43人 ◆エコライフつうしんぼ提出人数 目標:2,280人 実績:894人 ◆エコライフつうしんぼ申込人数 目標:2,810人 実績:1,418人	現状維持	エコライフつうしんぼについては、申込人数に対する提出人数が減少しているため、提出率が上がるよう試みてゆく。	

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 110件 開催件数 117件

◆主な環境教育事業
 ①幼児のための環境教育出前講座
 開催数 46回、開催園数(保育園・幼稚園等) 計36園
 ②環境教育、学習プログラムの普及
 ③環境白書、環境副読本、エコカレンダーの発行や配布による環境情報の提供
 ④「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校へ配付

1. 市民の学びを支える

(2)学びの場(場所)の提供

主な事務事業	概要	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考				
		具体的な取り組み(実績)											
		R4年度								R5年度			
サブリ村野NPOセンター施設 維持管理事業 【市民活動課】	NPOその他の市民団体に様々な分野における活動の場を提供、及び施設の維持管理	一時利用室(7室)利用件数 4,505件 利用率 46.5% 長期利用室(7室)利用団体 6団体 利用月数 計81月				一時利用室(7室)利用件数 4,829件 利用率 49.7% 長期利用室(7室)利用団体 7団体 利用月数 計82月				◆修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/当初予算額×100】 目標:100%以内 実績:2,772% ◆必要な保守点検数の実施予定回数 目標:33回 実績:33回	現状維持	サブリ村野NPOセンターを利用するNPOその他の市民団体が施設を安心して安全快適に利用できるような、施設の維持管理を行い、安心して使用できる市民活動の場の提供を行う。	
総合文化芸術センター施設 維持管理業務 【文化生涯学習課】	市民に文化活動及び生涯にわたる学習活動の場を提供及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 ①本館 大ホール・小ホール・イベントホール 稼働率 79.6% 美術ギャラリー 利用率 93.7% 諸室 利用率 53.6% ②別館 諸室 利用率 27.3% トレーニングルーム 使用者数 5,720人				◆指定管理者制度導入施設 ①本館 大ホール・小ホール・イベントホール 稼働率 76.0% 美術ギャラリー 利用率 88.4% 諸室 利用率 55.4% ②別館 諸室 利用率 39.1% トレーニングルーム 使用者数 6,946人				◆修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合。【算出式:決算額/当初予算額×100】 目標:100% 実績:56.62% ◆保守点検等実施回数 目標:495回 実績:713回	現状維持	指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めている。 本館の改修・修繕は、市有建築物保全計画改定の際に今後の方針を策定する。別館の改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行う。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹊跀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹊跀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:60,041件(内訳) ・一般団体利用 53,139件 ・行政による利用 1,452件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,450件				◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹊跀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹊跀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件				◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数/回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。	

事業内容			
具体的な取り組み(実績)			
H30			
一時利用室(7室)利用件数 3,744件 利用率 43.9% 長期利用室(7室)利用団体 7団体 利用月数 計84月			
◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRL、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹊跼・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹊跼・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:63,304件(内訳) ・一般団体利用 57,168件 ・行政による利用 1,485件 ・センターの主催や共催などによる利用 4,651件			

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
生涯学習市民センター維持管理事業 【文化生涯学習課】	市民が枚方市立生涯学習市民センターを安全で快適に利用できるよう施設管理を実施	清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行、施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等を実施した。 令和4年度は、市有建築物保全計画に基づき、楠葉施設の外壁他改修工事、菅原・南部施設の給水設備改修工事、菅原施設の消火設備改修工事を行った。また、保全計画外で南部施設の受変電設備改修工事、菅原施設のガス吸収式冷温水機更新工事を行った。	清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託の執行、施設・設備・備品の老朽化に伴う修繕や購入等を実施した。 令和5年度は、市有建築物保全計画に基づき、牧野施設の給水設備工事、津田施設の空調設備改修工事及び給水設備工事、菅原施設の受変電設備改修工事及び昇降機設備更新工事、南部施設の防災設備更新工事を行った。	◆修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式：決算額/当初予算額×100】 目標：100%以内 実績：80% 臨時休館日(改修工事や保守点検、天災等を除く突発的な休館日数) 目標：0日 実績：0日	現状維持	生涯学習市民センターの改修・修繕は、市有建築物保全計画に即して実施している。施設の現状を踏まえ、計画的に補修等を行っていく。 指定管理者制度による運営を行う施設における業務の執行状況等について、モニタリングなどを通じた適切な把握・指導・監督に努めていく。 引き続き、中央図書館資料室で保管している市所蔵美術工芸品の状態を把握するとともに、適正管理を行う。 基金については、本市の美術施策の充実並びに美術品等の継続的な保管・管理のために活用する。	
総合福祉センター維持管理事業 【健康福祉政策課】	高齢者や市民の健康と福祉の増進のために活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数 308日 ①施設専用使用 10,420件 ②個人共用使用利用者数 15,638人	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数 309日 ①施設専用使用 10,355件 ②個人共用使用利用者数 46,417人	◆修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式：決算額/当初予算額×100】 目標：100%以内 実績：157%以内 ◆保守点検や修繕、補修工事の件数 目標：34件 実績：42件	現状維持	引き続き、指定管理者による運営が適切に行われるよう、施設管理運営状況の確認を行うとともに、利用者が安全に施設を利用できるよう、必要な施設保全や保守点検等を実施していく。	◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数308日 ①施設専用使用 11,423件 ②個人共用使用利用者数 21,039人
総合福祉会館維持管理事業 【健康福祉政策課】	市民に福祉活動の場を提供、及び施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 347日 温水プール開所日数 252日 ①施設専用使用 6,701件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 33,726人	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 348日 温水プール開所日数 104日 ①施設専用使用 4,108件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 11,229人	◆修繕料、補修工事費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式：決算額/当初予算額×100】 目標：100%以内 実績：66.85%以内 ◆保守点検回数 目標：97回 実績：103回	現状維持	引き続き適正な会館管理を行い、福祉活動の場を提供していく。 令和5年度は、設備故障のため、7月18日～9月24日は大研修室の午前、午後の時間帯以外は貸室の使用を中止。 温水プールについては、4月1日～10月8日は設備故障による臨時休業、12月1日～1月19日はプール設備の改修工事による臨時休業とした。	◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 342日 温水プール開所日数 232日 ①施設専用使用 6,499件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 47,058人
枚方公園青少年センター維持管理事業 【子ども青少年政策課】	青少年に学習と憩いの場を提供、及び施設の維持管理	◆利用件数 ①青少年利用 263件 ②一般団体利用 4,572件 ③行政による利用 326件 ④センター主催・共催利用 301件	◆利用件数 ①青少年利用 312件 ②一般団体利用 4,429件 ③行政による利用 390件 ④センター主催・共催利用 509件	◆施設利用満足度【算出式：「満足」「ほぼ満足」の回答者数/施設利用者アンケートの回答者数×100】 目標：85% 実績：94% ◆青少年団体の施設利用数 目標：480件 実績：312件 ◆施設・設備・備品の修繕・更新の実施件数 目標：7件 実績：11件	現状維持	引き続き、青少年に学習と憩いの場を与え、仲間づくりと活動を支援し、また、地域交流の場として、文化・学習でも利用できる施設として、利用者の満足度の向上と利用推進を図るため、必要に応じた設備の改善等を行う。	◆利用件数 ①青少年利用 436件 ②一般団体利用 4,961件 ③行政による利用 293件 ④センター主催・共催利用 392件

事業内容	
具体的な取り組み(実績)	
H30	
清掃、空調設備・防災設備・電気設備・自家発電・エレベーター等の点検、夜間・休日の警備等の委託。施設の老朽化に伴う修繕等を実施。 市有建築物保全計画に即し実施したことに加え、平成30年度は地震・台風による補修工事を行った。	
◆指定管理者制度導入施設 センター開所日数308日 ①施設専用使用 11,423件 ②個人共用使用利用者数 21,039人	
◆指定管理者制度導入施設 会館開所日数 342日 温水プール開所日数 232日 ①施設専用使用 6,499件 ②ラポールひらかた温水プール利用者数 47,058人	
◆利用件数 ①青少年利用 436件 ②一般団体利用 4,961件 ③行政による利用 293件 ④センター主催・共催利用 392件	

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考	事業内容	
		具体的な取り組み(実績)						具体的な取り組み(実績)	
		R4年度	R5年度					H30	
教育文化センター維持管理事業 【教育研修課】	市民に教育活動・文化活動の場を提供及び施設の維持管理	◆一般団体の利用 ①件数 944件 ②利用者数 12,619人	◆一般団体の利用 ①件数 923件 ②利用者数 12,915人	◆修繕料、工請費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額/予算額×100】 目標:80% 実績:120% ◆修繕件数 目標:10件 実績:3件	現状維持	築後35年の老朽化施設の適切なメンテナンスのため、市の全体計画とも緊密に連携しながら効果的な予算執行のもと、関係各課とも十分調整を図って、必要な修繕事業を施行していく。		◆一般団体の利用 ①件数 1,033件 ②利用者数 18,633人 ③利用率 18.5%	
総合スポーツセンター維持管理事業 【スポーツ振興課】	市民にスポーツ活動の場を提供。各種スポーツ教室の実施によるスポーツ機会の提供、施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 282,398人	◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 286,896人	◆施設の不備等による事故件数 目標:0件 実績:0件 ◆施設保全や保守点検に関する対応予定件数 目標:8件 実績:7件	現状維持	指定管理者による効果的・効率的な施設運営が行われているか、モニタリング等で適宜確認するとともに、保全計画に基づいた施設の維持管理を行っていく。		◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 306,167人	
野外活動センター維持管理事業 【スポーツ振興課】	各種キャンプ教室や天体観測棟(ステラホール)を活用した天文教室などの実施による、市民が自然と触れ合う機会の提供、施設の維持管理	利用者数: 12,854人	利用者数: 11,565人	◆施設の不備等による事故件数 目標:0件 実績:0件 ◆施設保全や保守点検に関する対応予定件数 目標:18件 実績:15件	現状維持	保全計画等に基づき、適切に施設の維持管理を行っていく。また、令和5年度から入札により新たな委託業者による運営業務を行っており、引き続き良好な運営を行っていく。また、来年度の森林環境譲与税を活用し、安全な施設運営を務める。		利用者数 14,026人	
市立小中学校及び幼稚園施設開放事業 【新しい学校推進室】	市民の身近な文化・スポーツ・地域活動の場として、学校園の教育及び施設の管理運営に支障のない範囲で小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等を開放。土曜・日曜・祝日の8時～17時に市立小学校の体育施設を各小学校区の体育施設開放運営委員会のもと開放し、地域住民の利用を促進	◆小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等の開放 年間利用者数: 836,177人	◆小中学校のグラウンド・体育館・特別教室及び幼稚園遊戯室等の開放 年間利用者数: 865,559人	◆年間利用者数 目標:360,000人 実績:865,559人 ◆施設利用許可件数(文化・地域活動) 目標:400件 実績:741件 ◆施設開放する小、中学校、幼稚園数(文化・地域活動) 目標:28校園 実績:41校園 ◆施設利用許可件数(スポーツ) 目標:17,600件 実績:31,275件 ◆施設開放する小、中学校、幼稚園数(スポーツ) 目標:63校園 実績:63校園	見直し	利用者が固定化傾向にあることや学校の負担軽減などの諸課題について、学校や学校体育施設開放運営委員会と連携しながら解決に向けて取り組みを進める。また、施設利用における受益者負担の徴収についても併せて検討する。		◆体育館及び運動場の開放 学校開放件数 13,643件	
中央図書館運営事業 【中央図書館】	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供	◆中央図書館 ①貸出冊数 739,100冊 ②予約受付件数 62,540件 ③延べ利用者数 296,193人 ④団体貸出 228団体 25,913冊 ⑤実利用者 54,983人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆中央図書館 ①貸出冊数 722,554冊 ②予約受付件数 61,547件 ③延べ利用者数 303,908人 ④団体貸出 214団体 30,645冊 ⑤実利用者 56,894人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆中央図書館の貸出冊数 目標:892,503冊 実績:722,554冊 ◆中央図書館の来館者数 目標:491,092人 実績:386,856人 ◆中央図書館での事業実施回数 目標:41回 実績:175回	現状維持	引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。イベントなど、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討・実施していく。		◆中央図書館 ①貸出冊数 901,046冊 ②予約受付件数 54,702件 ③延べ利用者数 300,450人 ④団体貸出 197団体 40,919冊 ⑤実利用者 60,366人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	

事業内容	
具体的な取り組み(実績)	
H30	
◆一般団体の利用 ①件数 1,033件 ②利用者数 18,633人 ③利用率 18.5%	
◆指定管理者制度導入施設 利用者数: 306,167人	
利用者数 14,026人	
◆体育館及び運動場の開放 学校開放件数 13,643件	
◆中央図書館 ①貸出冊数 901,046冊 ②予約受付件数 54,702件 ③延べ利用者数 300,450人 ④団体貸出 197団体 40,919冊 ⑤実利用者 60,366人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
図書館分館運営事業 【中央図書館】	図書館サービスにおける地域の拠点として、中央図書館および図書館分室と連携しながら、図書館資料の貸出やレファレンスサービス等の図書館サービスを提供	◆分館 ①貸出冊数 2,573,317冊 ②予約受付件数 589,916件 ③延べ利用者数 1,272,816人 ④団体貸出 312団体 28,587冊 ⑤実利用者 54,983人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分館 ①貸出冊数 2,635,567冊 ②予約受付件数 597,057件 ③延べ利用者数 1,355,616人 ④団体貸出 384団体 29,071冊 ⑤実利用者 56,894人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分館の貸出数 目標:2,044,908冊 実績:2,635,567冊 ◆分館の来館者数合計 目標:1,293,153人 実績:1,382,522人 ◆分館数 目標:7館 実績:7館	現状維持	・図書館サービスにおける地域の拠点として、図書館資料の貸出、レファレンスサービス等を引き続き提供する。 ・指定管理者による管理運営のため、モニタリング等を適し、適正な管理・運営が行われているかの把握に努める。 ・充実した図書館サービスの拡充のため、令和6年度に市駅前図書館を開館する。	
図書館分室運営事業 【中央図書館】	分館の利用が困難だが比較的人口が集中している地域に設置し、中央図書館および分館と連携しながら、図書館資料の貸出や読書支援等の図書館サービスを提供	◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 453,723冊 ②予約件数 161,368件 ③延べ利用者数 233,070人 ④団体貸出 45団体 4,953冊 ⑤実利用者 54,983人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 469,840冊 ②予約件数 162,588件 ③延べ利用者数 249,843人 ④団体貸出 70団体 4,976冊 ⑤実利用者 56,894人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	◆分室の貸出冊数 目標:527,116冊 実績:469,840冊 ◆分室の来館者数合計 目標:205,624人 実績:138,740人 ◆分室数 目標:10室 実績:7室	現状維持	利用状況、施設状況、効率的な人員配置の検討を進め、効果的な図書館利用促進と市民の満足を図る。	
旧田中家鋳物民俗資料館維持管理事業 【文化財課】	枚方に古くから残る鋳物の歴史や民具を活用し、枚方の歴史や人々の暮らしについての認識を深め、郷土愛を育てる機会の提供、施設の維持管理	年間開館日数 307日 年間入館者数 6,285人	年間開館日数 313日 年間入館者数 6,777人	◆来館者アンケートで「満足」と回答したものの割合【算出式:来館者アンケートにて「満足」と回答した人数／アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:89% ◆来館者数 目標:10,000人 実績:6,777人 ◆イベント等の実施回数(延べ) 目標:27回 実績:25回 ◆参加者数 目標:272人 実績:285人 ◆講座等の実施回数(延べ) 目標:58人 実績:51人	現状維持	祭礼行事及びだんじり調査を計画的に進めており、調査結果の取りまとめに着手する。 また、津田の春日神社「提灯祭り」について、市登録民俗文化財(無形)の登録を目指し、各種調査及び記録に取り組む。	
枚方宿鍵屋資料館維持管理事業 【文化財課】	枚方宿、京街道や淀川舟運の歴史について認識を深めるとともに、郷土愛を育てる機会の提供、施設の維持管理	◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 307日 年間入館者数 7,702人	◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 307日 年間入館者数 8,620人	◆計画的な修繕料・工事請負費に係る当初予算額に対する決算額の割合【算出式:決算額／当初予算額×100】 目標:100% 実績:81% ◆計画的な修繕・工事件数(指定管理事業含む) 目標:1件 実績:7件	現状維持	枚方宿や京街道、淀川舟運の歴史について広く普及啓発するため、枚方宿鍵屋資料館の維持管理事業を継続する。	

事業内容	
具体的な取り組み(実績)	
H30	
◆分館 ①貸出冊数 1,936,407冊 ②予約受付件数 451,465件 ③延べ利用者数 823,240人 ④団体貸出 263団体 36,113冊 ⑤実利用者 60,366人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	
◆分室及び市駅前サービススポット ①貸出冊数 518,630冊 ②予約件数 167,562件 ③延べ利用者数 214,718人 ④団体貸出 54団体 9,996冊 ⑤実利用者 60,366人 ※実利用者数については全体のみ。各館はなし。	
年間開館日数 308日 年間入館者数 8,639人	
◆指定管理者制度導入施設 年間開館日数 305日 年間入館者数 11,296人	

2. 学びの成果の活用を支える
(1)学びの成果を活用できる場の提供

生涯学習推進基本指針進捗状況

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
ひらかた人形劇フェスティバル支援事業 【文化生涯学習課】	枚方人形劇連絡会・市・文化国際財団・指定管理者の4者で実行委員会を組織・運営する「ひらかた人形劇フェスティバル」を支援	【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・3月11日に開催。参加者数1,236人	【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・2月10日にプレフェスティバルを開催。参加者数234人 ・3月9・10日にフェスティバルを開催。参加者数2,368人	◆満足度(来館者より)アンケートにより満足であったと回答した割合。【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:0% ◆フェスティバルへの来場者数 目標:2,000人 実績:2,368人 ◆フェスティバル開催数 目標:1回 実績:1回	現状維持	地域を巻き込んだPRを引き続き行い、地域の活性化とともに、人形劇事業及び生涯学習市民センターの認知度の向上を図り、街の魅力の一つとして発信していく。	
市民企画イベント促進事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が企画する、広く市民を対象とする文化芸術に係る事業を実施しようとする団体に対して支援を実施	【実施実績】 ①申請団体数 3団体 ②支援団体数 3団体	【実施実績】 ①申請団体数 5団体 ②支援団体数 4団体	◆各事業の参加者数の合計 目標:150人 実績:884人 ◆支援決定団体が実施した事業数 目標:3事業 実績:9事業 ◆支援決定団体数 目標:3団体 実績:4団体	現状維持	これまでの取組を継続する。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。	
		◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:60,041件(内訳) ・一般団体利用 53,139件 ・行政による利用 1,452件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,450件	◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件				
枚方フェスティバル協議会支援事業 【観光交流課】	伝承文化等を生かした市民の自主的な活動を促進し、まちの賑わいを創出するため、枚方まつりなどを開催する「枚方フェスティバル協議会」を支援	①七夕芸芸展(7月7日～10日) 約1,000人 ②くらわんかフェスティバル(8月15日) 約800人 ③枚方まつり【新型コロナで中止】 ③ひらかたNPOフェスタ(10月23日) 約2,000人	①七夕芸芸展(7月7・8日) ②くらわんかフェスティバル(8月20日) 約1,100人 ③枚方まつり(8月26・27日) 約100,000人 ④サブリ村野NPOフェスタ(10月22日)	◆枚方に愛着を抱いている市民の割合【算出式:アンケートで枚方市に愛着を感じると答えた人数／アンケート回答者数×100】 目標:90% 実績:94% ◆来場者数 目標:140,000人 実績:104,100人 ◆イベント件数 目標:11件 実績:6件	現状維持	引き続き、めざす姿、あるべき姿の実現に向け、同協議会への効果的な支援を行う。	

(参考)

事業内容	
具体的な取り組み(実績)	
H30	
【開催目的】 市内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ①プレフェスティバル(メセナひらかた) 249人 ②フェスティバル当日 来場者 延べ2,566人 ③キッズのための人形劇講座 参加者 10人 ④牧野駅前商店会と連携(実際にフェスティバルで使用する人形を店舗に展示) ※平成30年度は人形劇フェスティバル30周年記念事業として、本フェスティバルを2日間開催した。	
【実施実績】 ①申請団体数 2団体 ②支援団体数 2団体	
◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。	
◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:63,304件(内訳) ・一般団体利用 57,168件 ・行政による利用 1,485件 ・センターの主催や共催などによる利用 4,651件	
◆主なまつり ①枚方ふれあいフェスティバル(6月3日) 参加者数 約3,700人 ②枚方まつり2018(8月25日、26日) 参加者数 約100,300人 ④ひらかたNPOフェスタ2018(9月9日) 参加者数 約3,500人	

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
菊人形支援事業 【観光交流課】	市民による菊人形づくりを支援	①桜まつり 3月23日～4月8日 (枚方市駅コンコース:造花人形3体笹飾り1基/サブリ村野:彦星織姫各1体笹飾り1基) ②七夕まつり 6月23日～7月8日 (京阪市駅コンコース:彦星織姫各1体牛1頭笹飾り1基) ③菊花展10月11日～11月14日 (枚方市駅コンコース:菊人形2体/別館前:菊人形6体/市民の森2体)	①桜まつり 3月25日～4月8日 (枚方市駅コンコース:造花人形1体/桜の木1基) ②七夕まつり 6月26日～7月9日 (京阪市駅コンコース:彦星織姫各1体/牛1頭/機織1台/竹笹2基) ③菊フェスティバル10月25日～11月13日 (枚方市駅コンコース:菊人形3体/別館前:菊人形5体/市民の森:菊人形2体)	◆菊人形文化の認知度【算出式:「菊人形文化を知っている」と回答した人数／回答者人数×100】 目標:60% 実績:98% ◆来場者数(菊花展含む) 目標:16,500人 実績:24,620人 ◆展示回数 目標:4回 実績:6回	現状維持	ひらかた市民菊人形の会について、会員の固定化や高齢化の解消に向け令和5年度より新体制でスタートし、活動内容の発信や新規会員の獲得に向けた会報誌の発刊などに取り組んでいる。当課として、引き続き、同会の支援を通じて、めざす姿、あるべき姿の実現に向け取り組む。		

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
①「ひらかた菊フェスティバル」期間中に市役所周辺等へ菊人形12体、衣装人形2体を展示 ②京阪枚方市駅2階中央コンコースにて3月中旬～4月中旬まで市の花「桜」にちなんだ衣装人形を2体、4月上旬～5月上旬まで市役所周辺に衣装人形を2体、7月上旬に七夕にちなんだ衣装人形を2体展示

2. 学びの成果の活用を支える
(2)学びの成果を活用できる仕組みづくり

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
消費者等教育啓発事業 【危機管理政策課】	地域における消費者被害未然防止のための情報提供など啓発活動を実施	◆地域啓発リーダーによる啓発紙の配布 各地域において啓発紙「月刊くらしの赤信号」を配布	◆地域啓発リーダーによる啓発紙の配布 各地域において啓発紙「月刊くらしの赤信号」を配布	◆各種活動の参加者の満足度【算出式: アンケートで「とてもわかりやすかった」「わかりやすかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】 目標: 100% 実績: 93% ◆消費生活セミナー及び消費者教育講演会への参加者数(交付金事業分除く) 目標: 400人 実績: 384人 ◆消費生活セミナー及び消費者教育講演会の実施回数 目標: 10回 実績: 11回 ◆出前講座参加人数 目標: 600人 実績: 147人 ◆出前講座開催回数 目標: 15人 実績: 7人 ◆消費者団体による啓発活動参加人数 目標: 10人 実績: 10人 ◆消費者団体による啓発活動回数 目標: 10回 実績: 10回	現状維持	市民の消費者問題に対する意識の高揚を図るため、引き続き各種啓発事業に取り組む。	
「なんでも、どこでも出前塾」実施事業(再掲) 【文化生涯学習課】	各施策担当課職員が市民団体に出向き、市政について等を説明する「職員による出前講座」と生涯学習に係る情報を市HP で発信する「学びの情報ひろば」を組み合わせた事業。	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 125件 開催件数 134件	◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 124件 開催件数 147件	◆満足度(実施報告書より)実施報告書に満足であったと回答した割合。【算出式: 「満足」と回答した開催講座数／開催講座数×100】 項目: 「満足」「普通」「不満」 目標: 80% 実績: 98% ◆出前講座実施回数 目標: 140回 実績: 147回 ◆出前講座メニュー数 目標: 120件 実績: 124件 ◆HPアクセス件数 目標: 1500件 実績: 939件 ◆「学びの情報ひろば」HP掲載件数(講師紹介件数＋登録団体件数) 目標: 1,200件 実績: 713件	現状維持	引き続き市民が必要とする生涯学習情報や市政に関する情報を提供するため、本事業を継続実施する。また、「学びのひろば」については、より多くの生涯学習に関する情報を提供できるよう、引き続き努力する。	
健康づくり推進事業(再掲) 【健康づくり課】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 15人 フォローアップ研修参加者数 延べ 52人 ◆地区組織活動 参加者数 1,992人 ◆健康増進計画推進事業 「健康のつどい」 YouTube配信・展示会実施	◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成講座参加者数 延 64人 フォローアップ研修参加者数 延べ 85人 ◆地区組織活動 参加者数 2,140人	◆事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式: (準備期＋実行期＋維持期)と回答した人数／イベントの参加者×100】 目標: 78% 実績: 95.14% ◆健康づくりボランティア数 目標: 325人 実績: 182人 ◆健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数 目標: 9回 実績: 8回 ◆地区組織活動への参加者数 目標: 3,972人 実績: 1,322人 ◆地区組織活動の実施回数 目標: 130回 実績: 65回 ◆ウォーキングイベント参加者数 目標: 500人 実績: 590人	見直し	第3次枚方市健康増進計画において、働く世代の健康づくりに課題が多いことが明らかとなった。過去や現在の生活習慣が、将来の自身の健康、子どもの健康に影響することを踏まえ、生涯を通じて健康づくりに取り組めるよう支援していく。第3次枚方市健康増進計画の内容にあわせて、ロジックモデルの見直しが必要。	第3次枚方市健康増進計画(R6～R17)に合わせて一部見直し

(参考)

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆地域啓発リーダー養成講座(全3回) ①参加者 2人 ②養成後の活動内容 毎月、センターの機関紙を地域で配布。また、枚方市駅・樟葉駅で各2回、延べ17人とオリジナルティッシュ、月刊紙を配布するPR活動を実施。 ◆地域啓発リーダーフォローアップ研修 参加者 延べ67人 ◆学生啓発リーダー養成講座(全3回) 参加者 1人
◆学びの情報広場 庁内各部署のほか、商店会等で取り組まれている様々な生涯学習事業を集約して市民への情報提供を行った。 ◆職員による出前講座 講座メニュー数 110件 開催件数 117件
◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修 健康づくりボランティア講座養成者数 13人 研修参加者数 延べ 345人 ◆地区組織活動 参加者数 3,681人 ◆健康増進計画推進事業 健康医療福祉フェスティバル内 保健センターブース ＜台風接近のためイベント中止＞ 「健康のつどい」 参加者数 128人 ◆健康づくりエントリー等 健康ウォーキング 参加者数 175人 ひらかたカラダづくりトライアル バーチャルトライ 達成者数 95人 エンジョイトライ 達成者数 306人 ◆食育推進 食育カーニバル内 保健センターブース 参加者数 300人

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考	事業内容	
	概要	具体的な取り組み(実績)		具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度	H30						
認知症総合支援事業 【健康福祉政策課】	認知症を正しく理解し見守る認知症サポーターを養成	◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 44回 ②養成人数 950人	◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 69回 ②養成人数 1,881人	◆高齢者人口のうち、地域包括支援センターの総合相談利用・支援を受けた人の割合。 【算出式:総合相談対応件数(実人数)/高齢者人口×100】 目標:2.9% 実績:8.17% ◆地域包括支援センターの総合相談のうち介護・医療に関する相談件数 目標:9,500件 実績:17,556件 ◆在宅で介護を行っている家族等に対する適切な介護方法や相談等の取り組みをホームページ等に掲載した件数 目標:5件 実績:5件 ◆ひらかた高齢者sosキーホルダーの配布数(平成27年度からの累計数) 目標:7,050個 実績:8,671個 ◆ひらかた高齢者sosキーホルダー事業の広報掲載による周知回数 目標:1回 実績:1回 ◆認知症サポーター養成人数(累計) 目標:29,500人 実績:28,729人 ◆認知症サポーター養成講座の開催回数 目標:35回 実績:69回 ◆認知症カフェ登録団体数(当該年度末登録数) 目標:15団体 実績:18団体 ◆枚方市認知症カフェ設立支援事業補助金交付件数 目標:1件 実績:1件	現状維持	引き続き様々な手段を活用し認知症について周知啓発を行う。		◆認知症サポーター養成講座 ①開催回数 34回 ②養成人数 1,771人		

3. つながりを支える

(1)学ぶもの同士のつながりを支える

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
広報ひらかた発行事務(再掲) 【広報プロモーション課】	多彩な情報を市民にわかりやすく提供し、紙面への市民参加やコミュニティの促進などを図るため、広報紙を月1回及び必要に応じて年4回を限度に特集号・臨時号を発行し、全戸配布。イベントや市政情報などをタイムリーに編集。視覚障害者向けの点字録音広報発行	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,289,200部	A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,290,800部	◆スマホアンケートで広報ひらかたを「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人の割合【算出式:「とても読みやすい」「読みやすい」と回答した人数/スマホアンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:93% ◆年間配布部数(通常号のみ) 目標:2,230,000部 実績:2,290,800部 ◆年間発行回数(通常号のみ) 目標:12回 実績:12回	現状維持	引き続き市が力を入れる施策や市の魅力を紹介する紙面づくりを行うとともに、市民生活に直結する重要なお知らせを最優先にした紙面構成に取り組む。	
生涯学習市民センター活動委員会事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市内各生涯学習市民センターで市民と行政が協働(活動委員会)で生涯学習事業を実施	子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①子育て広場 4回 60人 ②子育て井戸端会議 11回 15人(内5回は申込者なしのため中止) ③子どもさんの会 10回(内8回は申込者なしのため中止) ④うつ病情報交流会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ39人	子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①子育て広場 6回 69人 ②親だけトークの会 11回 35人 ③うつ病情報交流会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ57人	◆事業への参加率【算出式:参加者人数／募集人数×100】 目標:80% 実績:80% ◆活動委員会事業の参加者延べ人数 目標:30,000人 実績:15,324人 ◆活動委員会事業の件数 目標:90件 実績:82件	現状維持	今後も、各地域の特性を活かした事業や、市民の学びのきっかけとなるような事業に取り組んでいく。	
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:60,041件(内訳) ・一般団体利用 53,139件 ・行政による利用 1,452件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,450件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。	
地域子育て支援拠点事業 【私立保育幼稚園課】	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感を緩和し、健やかな育ちを促進	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 【主な事業】 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:49,256人	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 【主な事業】 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:56,604人	◆地域子育て支援拠点施設利用者数 目標:69,400人 実績:56,604人 ◆地域子育て支援拠点施設数 目標:16か所 実績:13か所	現状維持	参加者の満足度は高いことから、ホームページやSNSなどを活用しながら、引き続き周知に努め、利用者増につながるよう取り組む。	

(参考)

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
A4判の広報紙(48ページを年12回)を月1回発行して全戸配布 ◆各世帯、事業所への全戸配布 年間作成部数 2,251,300部
子育て、障害者の生活など、同じ境遇や同じ悩みを持った人とのふれあい事業 ◆菅原生涯学習市民センターの活動委員会事業 ①子育て井戸端会議 開催回数: 11回 参加人数: 延べ169人(保護者75人・子ども94人) ②双子の会 開催回数: 11回 参加人数: 延べ75人(保護者27人・子ども48人) ③うつ病情報交流会 開催回数: 12回 参加人数: 延べ83人
◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹉跎・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹉跎・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:63,304件(内訳) ・一般団体利用 57,168件 ・行政による利用 1,485件 ・センターの主催や共催などによる利用 4,651件
◆子育て支援拠点 13ヶ所 7私立保育所(園)、3公立保育所、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:60,041件(内訳) ・一般団体利用 53,139件 ・行政による利用 1,452件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,450件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。		
ひらかた市民大学開催事業(再掲) 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学との連携・協力により、特色ある各大学の専門知識等を生かして学習できる講座を市民に提供	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施。令和4年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 19人 ②大阪歯科大学 30人 ③関西外国語大学 62人 ④大阪工業大学 23人 ⑤摂南大学 48人	市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を実施令和5年度は市内全5大学で実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西医科大学 119人 ②大阪歯科大学 50人 ③関西外国語大学 62人 ④大阪工業大学 26人 ⑤摂南大学 29人	◆満足度(アンケートにより)アンケートにより満足であったと回答した割合。【算出式:「満足」「やや満足」と回答した人数／回答者人数×100】項目:「満足」「やや満足」「普通」「やや不満」「不満」の項目で「満足」「やや満足」 目標:90% 実績:90% ◆「ひらかた市民大学」の参加者数 目標:200人 実績:286人 ◆「ひらかた市民大学」の開催数 目標:5回 実績:5回	現状維持	より多くの市民が、参加できるよう、各大学の特徴を活かした事業展開を行い、市民と大学との距離を縮め、街の魅力として発信していく。		
子ども大学探検隊事業 【文化生涯学習課】	学園都市ひらかた推進協議会事業として開催 市内5大学と連携し、市内の小学生を対象に大学での学習体験を実施	小学生向け「子ども大学探検隊」を開催。令和4年度は、希望のあった市内4大学で開催。 ◆開催大学と参加者数 ①大阪歯科大学 16人 ②関西外国語大学 25人 ③関西医科大学 21人 ④摂南大学 19人	小学生向け「子ども大学探検隊」を開催。令和5年度は、希望のあった市内5大学で開催。 ◆開催大学と参加者数 ①大阪歯科大学 18人 ②関西外国語大学 32人 ③関西医科大学 22人 ④摂南大学 13人 ⑤大阪工業大学 113人	◆満足度(アンケートにより)アンケートにより満足であったと回答した割合。【算出式:「とても良かった」「良かった」と回答した人数／回答者人数×100】項目:「とても良かった」「良かった」「ふつう」「あまり良くなかった」「良くなかった」 目標:90% 実績:93% ◆「子ども大学探検隊」の参加者数 目標:250人 実績:198人 ◆「子ども大学探検隊」の開催数 目標:5回 実績:5回	現状維持	実施に際しては、より多くの子どもたちが、安心・安全に参加できるよう、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を行いつつ、各大学の特色を活かした事業を行い、市民周知に努める。		
ひらかた人形劇フェスティバル支援事業(再掲) 【文化生涯学習課】	枚方人形劇連絡会・市・指定管理者の3者で実行委員会を組織・運営する「ひらかた人形劇フェスティバル」を支援	【開催目的】 市内内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・3月11日に開催。参加者数419人	【開催目的】 市内内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ・2月10日にプレフェスティバルを開催。参加者数234人 ・3月9・10日にフェスティバルを開催。参加者数2,368人	◆満足度(来館者より)アンケートにより満足であったと回答した割合。【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:0% ◆フェスティバルへの来場者数 目標:2,000人 実績:2,368人 ◆フェスティバル開催数 目標:1回 実績:1回	現状維持	地域を巻き込んだPRを引き続き行い、地域の活性化とともに、人形劇事業及び生涯学習市民センターの認知度の向上を図り、街の魅力の一つとして発信していく。		

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRLし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:63,304件(内訳) ・一般団体利用 57,168件 ・行政による利用 1,485件 ・センターの主催や共催などによる利用 4,651件
市民向け講座「ひらかた市民大学」を開催。大学の特色を生かした生涯学習講座を各大学1回計5講座を実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西外国語大学 34人 ②大阪工業大学 44人 ③大阪歯科大学 30人 ④摂南大学 13人 ⑤関西医科大学 55人
平成29年度までは3大学での実施であったが、平成30年度は市内全5大学で実施。 小学生向け講座「子ども大学探検隊」を開催。大学の特色を生かした学習体験を5大学1回ずつ計5講座実施 ◆開催大学と参加者数 ①関西外国語大学 41人 ②大阪歯科大学 39人 ③関西医科大学 13人 ④大阪工業大学 約200人 ⑤摂南大学 13人
【開催目的】 市内内外の人形劇団の発表・交流や、地域との交流、さらには市民に人形劇の楽しさを味わってもらうこと 【事業内容】 ①プレフェスティバル(メセナひらかた) 249人 ②フェスティバル当日 来場者 延べ2,566人 ③キッズのための人形劇講座 参加者 10人 ※平成30年度は人形劇フェスティバル30周年記念事業として、本フェスティバルを2日間開催した。

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
新産業創出事業(地域活性化支援センター運営事業(産学公連携関係)) 【商工振興課】	市内経済の活性化を図るため、地域の企業、大学、市、ひらかた地域産業クラスター研究会などの連携により、フォーラムを開催	◆産学公連携フォーラム ①開催日 2022年12月3日(土) ②参加人数 99人 ③開催場所 枚方市立地域活性化支援センター ④テーマ それ、どうやってんの?～産学公連携の原点に立ち返って～ ・パネルディスカッション『きっかけは課題解決! ?枚方はどうする?』 ・事例発表 (1)バーチャル空間を活用し、現地案内としてインキュベートルームの内見を紹介 (2)効率的で販路拡大も期待される疑似体験型の新たなバーチャル展示を紹介 (3)これまでの取り組み事例から、今後の産学公連携に期待すること ・パネル展示PR ・研究発表 イノベーション大賞の研究発表と表彰	◆産学公連携フォーラム ①開催日 2023年12月2日(土) ②参加人数 89人 ③開催場所 枚方市立地域活性化支援センター ④テーマ 共創の舞台! 2025大阪・関西万博と産学公連携の未来 ・基調講演「中小企業もいっちゃかみできる? 2025年大阪・関西万博への関わり方」 ・パネルディスカッション「地域一体型オープンファクトリーを経験して」 ・事例発表、事業報告 (1)不器用FACTORY2023開催報告 (2)没入型バーチャル工場見学の実証実験 (3)トレーディングカードを活用した共創の実現 ・映像展示PR ・研究発表 イノベーション大賞の研究発表と表彰	◆新産業の創出につながった割合 目標:100% 実績:100% ◆新産業創出に向けた取り組み件数 目標:2件 実績:4件 ◆新産業創出に向けた支援回数 目標:2回 実績:4回	現状維持	枚方産学公連携フォーラムの開催に向けて取り組むほか、地域活性化支援センターにおけるスタートアップへの創業支援として、起業に対する意欲や発想はあるが、知識や経験が不足している若手の起業家を主に対象とし、市や関係機関が伴走支援し、学びと実践の場を提供するプログラムである若手起業家支援事業「起業街道 枚方塾」を引き続き実施する。		
社会教育活動推進事業(社会教育[人権]講座等(※枚方市日本語・多文化共生教室「よみかき」)) 【教育政策課】	多文化共生の環境づくりの推進として、日常生活において、日本語の読み書きや会話に困っている方に対し、市内6箇所の生涯学習市民センターにおいて日本語の学習の場の提供などを行う教室「よみかき」を開催	【開催実績】 ①楠葉 87回 参加延べ人数 392人 ②サンブラザ 87回 参加延べ人数 361人 ③さだ 86回 参加延べ人数 307人 ④牧野 130回 参加延べ人数 333人 ⑤津田 86回 参加延べ人数 217人 ⑥菅原 83回 参加延べ人数 285人 合計 559回 参加延べ人数 1,895人	【開催実績】 ①楠葉 87回 参加延べ人数 757人 ②サンブラザ 88回 参加延べ人数 377人 ③さだ 86回 参加延べ人数 187人 ④牧野 129回 参加延べ人数 340人 ⑤津田 87回 参加延べ人数 335人 ⑥菅原 89回 参加延べ人数 348人 合計 566回 参加延べ人数 2,344人	◆参加者に対するアンケート結果(満足度)【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数/アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:92.04% ◆講座参加者延べ人数 目標:4,130人 実績:3,686人 ◆開催講座数 目標:614回 実績:616回	現状維持	講座実施後のアンケート調査で市民のニーズを把握したり、世間で話題になっているような内容を企画することで、より多くの市民が参加したくなるような事業の実施に努める。		
国際交流推進事業 【観光交流課】	国際交流活動への支援・促進、海外諸都市との友好交流、国際理解に関する講座、市民と在住外国人との交流等、国際交流推進に係る事業を実施する。	①中華人民共和国上海市長寧区 上海市長寧区児童書画展:【新型コロナで中止】 行政訪問の派遣:【新型コロナで中止】 ②オーストラリア連邦クイーンズランド州ローガン市 中学生友好交流訪問団の派遣:【新型コロナで中止】 ③大韓民国全羅南道霊岩郡 霊岩郡行政訪問団の派遣:令和5年3月29日～31日 博士王仁まつり受け入れ:令和4年11月3日 ④日本語ボランティア養成講座:令和5年1月10日～2月28日 (サンブラザ3号館 5階 国際交流ルーム) ⑤日本語ボランティアステップアップ講座:令和5年3月3日～17日 (サンブラザ3号館 5階 国際交流ルーム) ⑥外国人のための1日相談会:令和5年3月19日 (サンブラザ3号館 5階 国際交流ルーム) ⑦国際理解講座 中国家庭料理教室:令和5年3月29日 (菅原生涯学習市民センター 料理室) 国際理解講座 ワークショップ:令和5年3月30日 (サンブラザ3号館 5階 国際交流ルーム)	①中華人民共和国上海市長寧区 上海市長寧区児童書画展:令和6年2月3日～8日 市民訪問団の派遣:【実施せず】 ②オーストラリア連邦クイーンズランド州ローガン市 中学生友好交流訪問団の派遣:【実施せず】 ③大韓民国全羅南道霊岩郡 行政訪問団の派遣:令和6年3月27・28日 (博士王仁まつり) 霊岩郡行政訪問団の受入れ:令和5年11月3日 ④日本語ボランティア養成講座:令和6年1月9日～2月27日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 国際交流推進ルーム) ⑤日本語ボランティアステップアップ講座:令和6年3月1、8、15日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 国際交流推進ルーム) ⑥外国人のための1日相談会:令和6年2月18日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 国際交流推進ルーム) ⑦職員向け国際理解講座:令和6年2月27日 (枚方市役所 第3分館 第3会議室) ⑧市民向け国際理解講座:令和6年3月15日 (ひらかたサンブラザ3号館 5階 視聴覚室)	◆市民対象事業参加者の国際化に係る理解度【算出式:「理解が深まった」と回答した人数/アンケート回答者人数×100】 目標:80% 実績:95% ◆講座への延べ参加人数 目標:80人 実績:54人 ◆講座等の開催回数 目標:13回 実績:11回 ◆通訳・翻訳の依頼件数 目標:132件 実績:139件 ◆通訳・翻訳サポーターの人数 目標:27人 実績:27人 ◆市民対象の友好都市関連事業の参加者数・ローガン市中学生友好交流参加者・長寧区市民訪問団参加者※隔年開催事業 目標:20人 実績:0人 ◆交流事業の実施回数 目標:3回 実績:2回 ◆各教室・講座等への参加人数 目標:70人 実績:50人 ◆教室・講座等の開催回数 目標:3回 実績:2回 ◆外国人市民とボランティアの人数 目標:200人 実績:153人 ◆活動場所等の支援回数 目標:1回 実績:1回 ◆各相談会等への参加人数 目標:7人 実績:9人 ◆相談会等の開催回数 目標:1回 実績:1回	現状維持	庁内外の現状把握を行い、必要な支援や対応を考える。		

事業内容		
具体的な取り組み(実績)		
H30		
◆産学公連携フォーラム ①開催日 12月8日(土) ②参加人数 101人 ③開催場所 地域活性化支援センター ④テーマ 未来を創造する「ものづくり」への挑戦!		
【開催実績】 ①楠葉 87回 参加延べ人数 388人 ②サンブラザ 85回 参加延べ人数 490人 ③さだ 85回 参加延べ人数 134人 ④牧野 130回 参加延べ人数 606人 ⑤津田 87回 参加延べ人数 463人 ⑥菅原 88回 参加延べ人数 401人 合計 562回 参加延べ人数 2,482人		

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
生涯学習事業(朝鮮語教室運営事業)(再掲) 【文化生涯学習課】	ハングルの学習を通じて、隣国である朝鮮半島の歴史、文化、風俗、習慣、生活、儀礼を理解し、同じ地域社会の構成員としての交流を深め、多文化共生社会を醸成するとともに、国際交流を推進	【開催実績】 ①参加延べ人数 1,096人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)	【開催実績】 ①参加延べ人数 955人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 40回(年間)	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数÷回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。		
健康・医療・福祉フェスティバル開催事業 【健康福祉政策課】	医師会、歯科医師会、薬剤師会、社会福祉協議会、枚方市の共催で「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」を開催	【新型コロナで中止】 本フェスティバル実行委員会の構成団体に意向確認を行ったうえで開催中止を決定。8020達成者表彰のみ、表彰式は開催せず表彰状を発送する形で実施。被表彰者408名 【実行委員会の開催実績】 本イベントは平成元年度から毎年開催しており、イベント内容が定例化していることから、次年度(令和5年度)は新しい趣向を取り入れ、より充実したイベント開催に向けて協議を行うため、全3回の実行委員会を開催した。 【「枚方市健康・医療・福祉フェスティバル」に関するアンケート調査の実施】 次年度(令和5年度)のより充実したイベント開催に向けて、市民の意向を調査するため、本フェスティバルに関するアンケート調査を実施。 ・実施期間:令和4年8月8日(月)～8月31日(水) ・回答者数:1,609人	【イベント開催実績】 ①開催日時 令和5年10月22日(日)午前10時～午後3時30分 ②開催場所 ラポールひらかた ③主催 枚方市健康・医療・福祉フェスティバル実行委員会(枚方市医師会・枚方市歯科医師会・枚方市薬剤師会・枚方市社会福祉協議会・枚方市) ④内容 各健康測定・相談コーナー、こども薬剤師体験やフッ素塗布、ひらかた万博「バーチャルスポーツ体験」などの体験コーナー、ウォーキングイベント、豪華景品ガラガラ抽選会、体験型講座「ストレッチ教室」、模擬店など ⑤参加者数 延べ6,684人 【実行委員会開催実績】 イベント開催に向けて全3回の実行委員会を開催。	◆健康・医療・福祉フェスティバル参加者アンケートで、「意識が高まった」と回答した人の割合 目標:80% 実績:93% ◆参加者数(延べ人数) 目標:7,000人 実績:6,684人 ◆実行委員会の実施回数 目標:4回 実績:3回	現状維持	引き続き、健康に関する意識を高められるようイベント内容を充実し、SNS等を活用して周知を行う。		
健康医療都市ひらかた推進事業 【健康福祉政策課】	行政、団体、大学、病院で構成する「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」において、市民の健康増進や地域医療のさらなる充実をめざし、連携事業を展開	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体14団体と連携団体2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 5,142人	「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体14団体と連携団体2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 11,601人	◆事務局主催事業における参加者アンケートで、「健康に関する意識が高まった」と回答した人の割合【算出式:健康に関する意識が高まったと回答した人÷アンケート数×100】 目標:80% 実績:86% ◆連携事業への市民等の参加者数 目標:12,000人 実績:11,601人 ◆連携事業としての講演会・研修等の実施回数 目標:30回 実績:29回	現状維持	引き続き、「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する14団体を中心に、社会資源の共同利用や情報共有、人材の交流、健康医療に関する情報発信等を行うとともに、コンソーシアム参画団体の代表者が参加する事務責任者が参加する事務レベル会議を開催する。また、構成団体が実施している各連携事業について、課題や取り組み状況を事務局として確認し、対応していく。		

事業内容	具体的な取り組み(実績)	H30
【開催実績】 ①参加延べ人数 1,330人 ②開催場所 サンプラザ生涯学習市民センター ③開催回数 初級クラス 40回		
【開催中止】 ①開催日 9月30日(日) ②開催場所 ラポールひらかた、メセナひらかた会館 ③内容 AEDプロレス、健康相談コーナー、8020達成者表彰式、こども薬剤師体験等 ※台風24号の影響により中止。		
「健康医療都市ひらかたコンソーシアム」に参画する構成団体 14団体と連携団体 2団体を中心に、社会資源の共同利用や情報の共有、人材の交流、健康と医療に関する情報発信等を行う。 コンソーシアムの連携事業として、以下の事業を実施。 ①災害医療対策のための連携事業 ②地域完結型医療実現のための連携事業 ③こころの健康増進のための連携事業 ④健康づくり・介護予防事業推進のための連携事業 ⑤母と子どもの健康支援のための連携事業 ⑥健康・医療アカデミー創設による連携事業 ⑦健康・医療関連の地域振興・まちづくりのための連携事業 ⑧健康・医療に関する情報発信のための連携事業 ◆コンソーシアム連携事業の参加者数 5,808人		

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
重層的支援体制整備事業 (コミュニティソーシャルワーカー配置(多機関協働等)事業) 【健康福祉総合相談課】	地域の高齢者、障害者、ひとり親家庭など援護を要するあらゆる者又はその家族・親族等の支援を通じて、地域福祉の向上と自立生活支援のための基盤作りを実施	◆いきいきネット相談支援センター 市内2カ所に福祉に関する地域相談員を配置 (「ラポールひらかた」内枚方市社会福祉協議会と「社協ルファルひらかた」の2拠点に集約し、エリアに関わらず相談が可能となった。) ◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施 ◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整 ◆重層的支援体制を活用し、複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり 令和4年度はのべ6,168件の相談を受け付けた。	◆いきいきネット相談支援センター 市内2カ所に福祉に関する地域相談員を配置 (「ラポールひらかた」内枚方市社会福祉協議会と「社協ルファルひらかた」の2拠点に集約し、エリアに関わらず相談が可能となった。) ◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施 ◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整 ◆重層的支援体制を活用し、複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり 令和5年度はのべ9,469件の相談を受け付けた。	◆サービスや制度利用につなげることができ、問題解決に向かった割合【算出式:対応できた件数/対象ケース数】 目標:50% 実績:63.3% ◆延べ相談件数 目標:13,732件 実績:9,467件 ◆「いきいきネット相談支援センター」設置箇所数 目標:5箇所 実績:2箇所 ◆アウトリーチ等、対象ケースに係る支援・対応した件数 目標:240件 実績:645件 ◆重層的支援会議及び支援会議において取り扱ったケース数 目標:48件 実績:87件	現状維持	令和6年度の機構改革により、参加支援事業のうち就労分野と居場所分野の担当が1課にまとまったことから、分野を超えた事業の推進を図る。	
健康づくり推進事業(再掲) 【健康づくり課】	健康づくりの知識の啓発及び意識の向上をめざし、各種講座の開催など取り組みを推進	◆健康フェア 大学健康フェア 参加者数 454人 その他健康フェア 参加者数 378人 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 564人 ウォーキングマップ 達成者数 699人 120日チャレンジ 達成者数 865人	◆健康フェア 大学健康フェア 参加者数 419人 その他健康フェア 参加者数 988人 ◆ひらかたカラダづくりトライアル 健康ウォーキングイベント 参加者数 590人 ウォーキングマップ 達成者数 963人 120日チャレンジ 達成者数 1,593人	◆事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】 目標:78% 実績:95.14% ◆健康づくりボランティア数 目標:325人 実績:182人 ◆健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数 目標:9回 実績:8回 ◆地区組織活動への参加者数 目標:3,972人 実績:1,322人 ◆地区組織活動の実施回数 目標:130回 実績:65回 ◆ウォーキングイベント参加者数 目標:500人 実績:590人	見直し	第3次枚方市健康増進計画において、働く世代の健康づくりに課題が多いことが明らかとなった。過去や現在の生活習慣が、将来の自身の健康、子どもの健康に影響することを通じて健康づくりに取り組めるよう支援していく。第3次枚方市健康増進計画の内容にあわせて、ロジックモデルの見直しが必要。	第3次枚方市健康増進計画(R6～R17)に合わせて一部見直し
「まなびング」サポート事業 【教育指導課】	小中学校において、学習指導等をサポートする大学生等を配置することにより、児童・生徒の学ぶ機会を充実	授業や放課後の時間に、教員を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援 【開催実績】 ①実施場所 市立小中学校63校中49校 ②活動人数 132名	授業や放課後の時間に、教員を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援 【開催実績】 ①実施場所 市立小中学校63校中49校 ②活動人数 150名	◆全国学力・学習状況調査における全国平均正答率から見た本市の平均正答率【算出式:枚方市の平均正答率/全国平均の平均正答率】 目標:1.01倍以上 実績:1倍 ◆大学生等の参加人数 目標:96人 実績:150人 ◆小中学校「まなびング」サポート事業実施校数 目標:63校 実績:49校	現状維持	サポーターの確保に努めながら、例年どおり、全校実施に向けて取り組みを継続する。	
部活動指導協力者派遣事業 【教育指導課】	中学校部活動の活性化や充実、及び顧問教員の生徒指導や授業研究の時間確保のため、専門的な知識や技能を有する指導協力者を派遣	市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣 【派遣実績】 ①実施場所 市立中学校全19校 ②派遣した回数 延べ 4,861回	市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣 【派遣実績】 ①実施場所 市立中学校全19校 ②派遣した回数 延べ 5,171回	◆顧問教員負担軽減時間数(＝部活動指導協力者活動時間数) 目標:604時間 実績:544時間 ◆1校あたりの部活動指導協力者活用日数 目標:302日 実績:272日 ◆部活動指導協力者の派遣回数 目標:5,750回 実績:5,171回	現状維持	引き続き、顧問教員の負担軽減に向けて、本事業の活用を推進していく。	
学校支援社会人等指導者活用事業 【教育指導課】	学校園において、優れた知識や技能を有する多様な人材を活用することにより、学校園と地域の連携を深め、幼児・児童・生徒の学習意欲や将来への夢をはぐくむ。	学校支援社会人等指導者による各教科における学習支援や本の読み聞かせやストーリーテリング、菊の栽培、環境教育等の指導 【開催実績】 ①実施場所 市立学校園69校園中65校園 ②実施回数 1,654.5回	学校支援社会人等指導者による各教科における学習支援や本の読み聞かせやストーリーテリング、菊の栽培、環境教育等の指導 【開催実績】 ①実施場所 市立学校園69校園中66校園 ②実施回数 1,623回	◆学校支援社会人等指導者を派遣した回数 目標:1,700回 実績:1,623回 ◆学校支援社会人等指導者活用した学校園数 目標:69校 実績:66校 ◆学校支援社会人等指導者登録者数 目標:110人 実績:264人	現状維持	指導者確保に努めながら、例年どおり、全校活用に向けて取り組みを継続する。	

事業内容

具体的な取り組み(実績)

H30

◆いきいきネット相談支援センター

市内4施設5カ所に福祉に関する地域相談員を配置

◆福祉に関するサービスや生活上の困りごとなど幅広く福祉に関する相談を実施

◆地域団体・専門機関と連携し、見守りやサービス等の調整

◆複合する課題や公的なサービスだけでは対応できない人への支援体制づくり

平成30年度はのべ12,144件の相談を受け付けた。

◆健康づくりボランティア・フォローアップ研修

健康づくりボランティア講座養成者数13人

研修参加者数延べ345人

◆地区組織活動

参加者数3,681人

◆健康増進計画推進事業

健康医療福祉フェスティバル内保健センターブース

＜台風接近のためイベント中止＞

「健康のつどい」

参加者数128人

◆健康づくりエントリー等

健康ウォーキング

参加者数175人

ひらかたカラダづくりトライアル

バーチャルトライ

達成者数95人

エンジョイトライ

達成者数306人

◆食育推進

食育カーニバル内保健センターブース

参加者数300人

授業や放課後の時間に、教職を志望する大学生等を学習指導のサポーターとして配置し、児童・生徒の学習活動を支援

【開催実績】

①実施場所市立小中学校46校

②活動人数延べ139名

市立中学校全19校の必要とする部活動に、専門的な知識・技能をもった指導者の派遣

【派遣実績】

①実施場所市立中学校全19校

②派遣した回数延べ5,553回

学校支援社会人等指導者による本の読み聞かせやストーリーテリング、和楽器指導、環境教育等の指導

【開催実績】

①実施場所市立学校園66校園

②実施回数1,489回

主な事務事業	事業内容				指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
	概要	具体的な取り組み(実績)						
		R4年度	R5年度					
子どもの居場所づくり補助事業 【子ども青少年政策課】	家で一人で食事をとる等の環境にある子どもに対し「食事の提供」を通じて居場所づくりに取り組む団体(NPO団体、地域団体等)に対し、運営経費などを支援。	◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 19団体(トライアル1団体含む) ②延べ開催回数 294回(トライアル1回含む) ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 38.4人	◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 21団体(トライアル1団体含む) ②延べ開催回数 378回(トライアル1回含む) ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 38.1人	◆参加した子どもにおける事業の満足度【算出式:満足度の高いアンケート回答者数÷アンケート回答者数×100】 目標:100% 実績:88.60% ◆子どもの延べ参加人数 目標:12,900人 実績:14,457人 ◆子どもの居場所づくり推進事業実施団体数 目標:45団体 実績:20団体	拡充	継続して全小学校区での子ども食堂の開設を目指すとともに、子どもの準備食数が40食以上提供する団体に対し、1回につき10,000円という新たな補助区分を設ける。		

事業内容
具体的な取り組み(実績)
H30
◆子どもの居場所づくりに取り組む団体に補助金を交付 ①実施団体数 19団体 ②延べ開催回数 440回 ③子どもの平均参加人数(1回当たり) 26人

主な事務事業	概要	事業内容		指標	今後の方向性	今後の取り組み方針	備考
		具体的な取り組み(実績)					
		R4年度	R5年度				
生涯学習事業(再掲) 【文化生涯学習課】	市民が学ぶ場所や機会の充実を図るべく、生涯学習市民センターにおいて、生涯学習情報の収集・提供、人材の育成と交流促進を実施し、生涯学習市民センター10施設における市民の利用を促進	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:60,041件(内訳) ・一般団体利用 53,139件 ・行政による利用 1,452件 ・センターの主催や共催などによる利用 5,450件	◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:64,495件(内訳) ・一般団体利用 57,051件 ・行政による利用 1,330件 ・センターの主催や共催などによる利用 6,114件	◆満足度の割合(生涯学習施策推進アンケートより)【算出式:「満足」「概ね満足」と回答した人数／回答者人数×100】 項目:「満足」「概ね満足」「やや不満」「不満」 目標:80% 実績:44% ◆生涯学習事業の参加者数 目標:3,900人 実績:2,560人 ◆生涯学習事業の開催数 目標:95回 実績:92回	現状維持	引き続き、市民の生涯学習の機会提供のため、各種事業を行う。また、生涯学習市民センターにおいて適切な施設運営がなされているかの確認を行う。生涯学習推進審議会においては、引き続き、生涯学習市民センターのあり方について、意見を求めるとともに、基本指針を検証し、生涯学習施策の推進に取り組む。美術施設運営委員協議会においては、美術関連事業について、専門的見地から様々な意見・提言等をいただく。	
地域子育て支援拠点事業(再掲) 【私立保育幼稚園課】	地域において子育て親子の交流等を促進する子育て支援拠点を設置 地域の子育て支援機能の充実を図り、子育ての不安感等を緩和し、健やかな育ちを促進	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:49,256人	◆子育て支援拠点 13ヶ所 6私立保育所(園)、3公立保育所、1(福)認定こども園、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等 ◆年間利用親子数:56,604人	◆地域子育て支援拠点施設利用者数 目標:69,400人 実績:56,604人 ◆地域子育て支援拠点施設数 目標:16か所 実績:13か所	現状維持	参加者の満足度は高いことから、ホームページやSNSなどを活用しながら、引き続き周知に努め、利用者増につながるよう取り組む。	
枚方子どもいきいき広場補助事業 【放課後子ども課】	地域の主体的な取り組みとして、これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的に、小学校で児童健全育成事業を実施する団体に対し支援	◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付 ①実施日数 1校区 平均 27.45日 ②参加児童数 延べ34,329人 ③参加ボランティア等数 延べ12,699人	◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付 ①実施日数 1校区 平均 29.86日 ②参加児童数 延べ34,505人 ③参加ボランティア等数 延べ13,152人	◆参加した子どもにおける事業の満足度【算出式:満足度の高いアンケート回答者数／アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:88.9% ◆参加児童数 目標:54,390人 実績:34,505人 ◆いきいき広場事業実施団体数 目標:44団体 実績:44団体	現状維持	これからの時代を生きる子どもの「生きる力」を育むことを目的として、市内44小学校区で、土曜日の学校休業日を基本に、地域の特色や多様性を生かしたプログラムを児童健全育成事業として引き続き実施する。	
社会教育活動推進事業(家庭教育支援事業)(再掲) 【教育政策課】	家庭教育支援事業を通して、家庭教育支援に関しての知識や技術を提供	◆家庭教育支援事業 ①夏休み親子講座「おみせやさんごっこ」で学ぶ『お金』のこと 参加者 15組33人 ②子育て応援！親学び講座 3回実施 参加者 計26人 ③教育講演「子どもを育てる」大人から「子どもが育つ」大人へ～変化の時代を生きる～(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 116人 ④ストレスマネジメント～思春期の子どもに向き合うために～ 参加者 26人 ⑤春休み親子で楽しむ「燃料電池実験教室」 参加者 8組18人 ⑥「ねえこのほんよんで～乳幼児期の読み聞かせで育む、子どもの未来～」 参加者 33人	◆家庭教育支援事業 ①親子で参加講座「親子で楽しもう！LED工作教室～あかりについて楽しく学ぼう～」 参加者 8組17人 ②思春期セミナー「思春期のいまドキネットトラブル事情～うちの子、大丈夫？ 後払い決済から闇バイトまで～」 参加者 23人 ③教育講演会「これからを生きる子どもたちにできること～時代を見すえ、備える～」(枚方市PTA協議会との共催事業) 参加者 109人 ④子育て応援！親学び講座「守りたい子どもがいるからこそ知っておきたい防災対策&子育て座談会」 参加者 9人 ⑤親を考えるセミナー「家族みんなで子どもとの時間を楽しもう」(人権政策課との共催事業) 参加者 64人 ⑥親子で参加講座「春休み 親子で楽しむ木工リサイクル～木片を使って、世界にひとつのオブジェ作り～」 参加者 10組28人	◆参加者に対するアンケート結果(満足度)【算出式:アンケートで「大変よかった」「よかった」と回答した人数／アンケート回答者数×100】 目標:80% 実績:92.04% ◆講座参加者延べ人数 目標:4,130人 実績:3,686人 ◆開催講座数 目標:614回 実績:616回	現状維持	講座実施後のアンケート調査で市民のニーズを把握したり、世間で話題になっているような内容を企画することで、より多くの市民が参加したくなるような事業の実施に努める。	
中央図書館運営事業(再掲) 【中央図書館】	枚方市立図書館の核として図書館運営に係る企画立案、貸出サービス、読書活動の推進、関連機関との連携等の中心となり図書館サービスを提供	◆主な子ども読書活動推進事業 ①読み聞かせボランティア養成講座 絵本の読み聞かせボランティア養成講座…講座(4回) 延べ参加人数 39人 実践(4回) 延べ参加人数 49人 ②子ども読書活動等推進ボランティアスキルアップ研修会 延べ参加人数 43人 ③読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 16団体 参加人数 355人	◆主な子ども読書活動推進事業 ①読み聞かせボランティア養成講座…講座(3回) 延べ参加人数 71人 実践(5回) 延べ参加人数 58人 ②子ども読書活動等推進ボランティアスキルアップ研修会 延べ参加人数 50人 ③読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 18団体 456人	◆中央図書館の貸出冊数 目標:892,503冊 実績:722,554冊 ◆中央図書館の来館者数 目標:491,092人 実績:386,856人 ◆中央図書館での事業実施回数 目標:41回 実績:175回	現状維持	引き続き市内図書館ネットワークの拠点として図書館サービスを提供する。イベントなど、利用者の増加が見込めるような取り組みを検討・実施していく。	

(参考)

事業内容	
具体的な取り組み(実績)	
H30	
◆生涯学習市民センターにおける学習支援と市民の生涯学習活動の推進に向けた取り組み ・他部局と連携し、身近な場所(生涯学習市民センター)での良質な文化の鑑賞や地域の特色・社会的な課題に係る生涯学習事業など、内容の拡充を図り、学習する機会を増やすべく取り組んだ。 ・地域の特色を生かした文化学習事業や交流事業など生涯学習市民センター活動委員会事業の認知度向上を図るため、委員会や事業をPRし、より幅広い市民層の参画によって活性化を図るとともに、学びのきっかけ作りとなるような事業に取り組んだ。 ・先行導入している2施設(蹠陀・牧野)を含め、生涯学習市民センター・図書館複合全6施設(楠葉・津田・御殿山・菅原・蹠陀・牧野)及び新たに牧野生涯学習市民センターの分館として位置づけた牧野北分館(市民交流センター)について、指定管理者制度の導入を行い、民間のノウハウを生かした事業の取り組みを行った。 ◆生涯学習市民センター(全10施設)合計利用件数:63,304件(内訳) ・一般団体利用 57,168件 ・行政による利用 1,485件 ・センターの主催や共催などによる利用 4,651件	
◆子育て支援拠点 13ヶ所 7私立保育所(園)、3公立保育所、ファミリーポートひらかた、すこやか広場きょうぶん(教育文化センター内)、広場さぶり(サブリ村野内) 〔主な事業〕 ・子育て親子の交流の場の提供 ・子育て等に関する相談 ・地域の子育て関連情報の提供 ・講習等	
◆各校区で事業に取り組む団体に補助金を交付 ①実施日数 1校区 平均 31.4日 ②参加児童数 延べ52,870人 ③参加ボランティア等数 延べ17,775人	
◆家庭教育支援事業 ①親子でさがそう！チリメンモンスター！ 参加者数 37人 ②複雑化・深刻化する思春期の“いじめ”～子供たちのSNSの現実、知っていますか？～ 参加者数 29人 ③「親学び講座」 参加者数 10人 ④「教育講演会 大切な人の『想い』とともに…」 参加者数 366人 ⑤「これって、過保護？過干渉～子どものやる気を引き出すために～」 参加者数 21人 ⑥親子でつくろう！オリジナルスピーカー！ 参加者数 35人	参加者 参加者 参加者 参加者 参加者 参加者
◆主な子ども読書活動推進事業 ①読み聞かせボランティア養成講座 紙芝居2回 参加人数37人 ②子ども読書活動等推進ボランティア交流会・研修会・実習 参加延べ人数 431人(交流会52人、研修会52人、実習参加人数327人) ③読書ボランティアの夏休みおはなし会 参加ボランティア数 14団体 参加人数600人	